

三商同窓会報



No.51

平成24年7月1日発行

ホームページアドレス <http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>



平成24年2月4日 新年会

第20回東京校歌祭のご案内

日時：平成24年10月6日（土）
場所：日比谷公会堂
会費：無料（少額の交通費を支給）
集合：午後2時（少し練習をする）
出演：3時30分頃
集合場所：日比谷公会堂階段の下広場
三商の幟が目印

服装：男性はダークスーツ、
女性はそれに準ずる。
*終了後有志で反省会を行ないます。
（会費は概算3,000円）
100人の大合唱を目指しています。大勢の方の
ご参加をお願いします。

三商同窓会 総会

日時：平成24年11月17日（土）午後4時
会場：両国「ザ・ホテル ベルグランデ」
出演：金原亭馬生（33期）

校歌

作詞 前田 夕暮
作曲 山田 耕筈
編曲 脇 則之

都の空は明けたり今

希望は燃ゆる若きわれら

都立第三商業、ここに拠るや

日本の富を担ふわれら

富岳の雪を望む窓辺

理想は高し 若きわれら

都立第三商業、ここに居るや

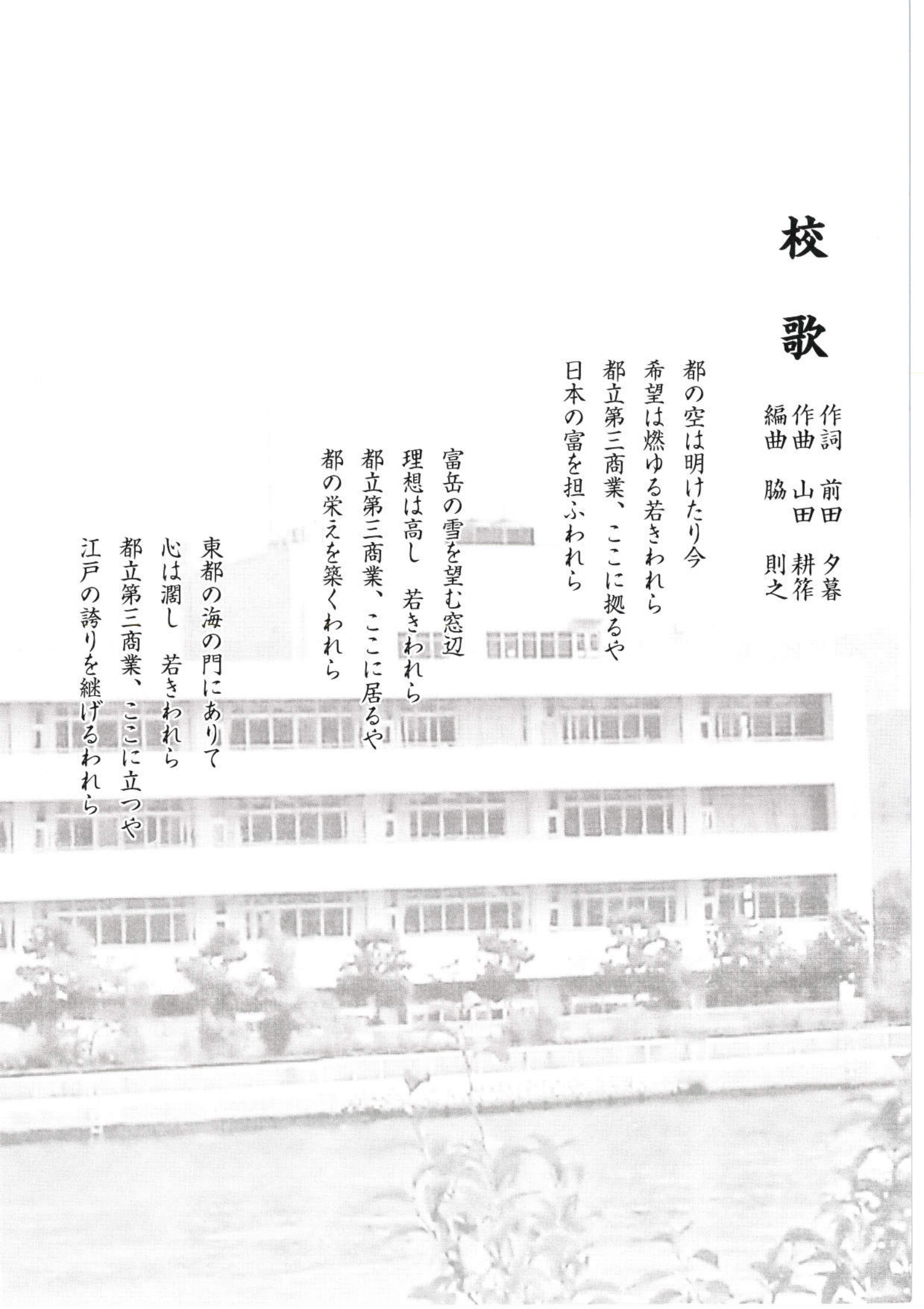
都の栄えを築くわれら

東都の海の門にありて

心は濶し 若きわれら

都立第三商業、ここに立つや

江戸の誇りを継げるわれら



就任のご挨拶



第七代同窓会会長 第二六期
岩瀬 和子 (旧姓坂口)

私達が再び見ることの出来ない金環日食が見られ、世界一のタワー東京スカイツリーが開業しました。ロンドンオリンピック開催も間近です。

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか、お伺い申し上げます。

本年五月十二日 平成二三年度の年次定時評議員会が開催され、役員全員任期満了を迎え、新たに理事及び評議員が選任されました。

柴崎晴雄会長の後任をお受けすることになり、身の引き締まる思いでございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昭和三年一月府立第三商業学校が男子校として創立され、昭和二三年七月新学制実施に伴い、都立第三商業高等学校と改称されました。

昭和二七年三月(十九期)に四名の女性と同窓会員なられました。年々女性会員が増え、昭和四四年三月(三六期)から男性一九〇名、女性二六九名と女性会員の方が多くなり、以来四三年間にわたり現在に至っております。ちなみに今年の七九期生は男性四九名女性九七名が同窓会に入会されました。

女性会員が多くなっている状況、女性の会長として後輩の女性会員に親しんでいただきたいと思えます。女性の細やかな心遣いと、真心で母校の発展と同窓会の活性化に微力ながら、力を注いでまいりますので、全役員と共にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

同窓会の運営に当たり重点活動として次の二点を行いたいと思えます。

- 1 同窓会報の発送を同窓会(事務局)で行います。今までは各期ごとに役員さんが配布されていましたが、各期の配布先名簿を送っていただければ同窓会から送付致します。名簿を事務局までご提出をお願いします。
- 2 同期会を行っていない期に、同期会の開催をお願いいたします。

同期会は同窓会の下部組織のようなものと思っております。是非同期会の開催をお願いいたします。特に四〇期以降の期の開催をお待ちしております。同窓会でいろいろお手伝いをさせてもらいます。名簿についてはご相談下さい。

退任のご挨拶



前同窓会会長 第二五期
柴崎 晴雄

前会長の俊才豪快な木戸隆吉氏から、後任として私が会長職の引継ぎをお受けし、早いもので四年前が矢の如く過ぎゆきました。四年前の九月十五日。リーマンショックという激震に見舞われ、日本経済は急転直下し、デフレ脱却できぬまま、昨年三月十一日、追打ちをかけるように大震災が勃発。復興も遅々として進まぬ中で欧州債務危機の発生と、内外の要因による不穏な四年間でした。その間、内閣総理大臣も何人か交替し、政治も低迷しています。

こうした背景にあっても「都立三商同窓会」の活動は大禍なく推移し、明年四月には同窓会結成満八十周年を迎えようとしています。あらためて歴史の深さを認識致しましたが、この四年間、私自身が

顧みれば何を功績として残せたのか、具象化できたものは格別見当たらずに、任期を終えることとなりました。

また、他校同窓会との連携(「東京校歌振興会」など)等は活力ある理事会スタッフが弛まず敷いてくれたレールを歩んで来たに過ぎません。しかし四年目、第四コーナーを回った最終年にあたり、些かも想定しなかった左の事例に直面しました。

その一。昨年六月に都立一商の同窓会副会長K氏が俄かに訪れ、同窓会の運営に関するノウハウ及びマニュアル(同窓会会則)等について情報交換しました。各校とも母校支援をはじめ、活動運営の計画、予算等それなりの状況には相互一致するものがありました。殊に新卒者よりの入会費に加え、既卒者への年会費制の実施で徴収事務にも鋭意注力しつつ、更には母校創立九十五周年記念の支援に向け、体制固めの活動に重きを置いているとのことでした。

その二。この四月、昨年の会報第五十号に掲載の「ガダルカナル戦詩集」(第十期萩野文雄さん寄稿)の冒頭に、「四期の吉田嘉七氏は、太平洋戦争の中でも最も」と冒頭を書き出していますが、出版関係者の玉居子精宏(たまいきあきひろ)と名乗るライターから取材を持ち込まれました。卒業期が四期となれば資料等も限定され、萩野先輩から貴重な資料をお借りしたうえで同氏(五十一歳、三商卒生に非ず)に面会しました。同氏はポロポロに朽ちかけた「戦詩集」(文庫本サイズより小型)の初版本を持参して、「OB吉田嘉七氏在校中の三商の校風を知りたい」ことが訪問の目的とのこと。

本件は、私の範疇で対応を決意し、会長を辞した今でこそ余暇を駆使しつつ、当時の校風を伝える関連データを揃えている内に六月も終え、会報のゲラ刷り出稿の日を迎えました。

つまるところ、八十年を迎える「三商同窓会」に外部からメッセージとかニーズがいつどこから発信されてくるかを敏感に体得可能にして置くことが肝要と認識致しました。退任のご挨拶になりませんが、略儀ながらひと言申し上げます。

ご挨拶



東京都立第三商業高等学校 校長

浦部利明

平成二四年四月一日付けで校長に着任した浦部利明と申します。同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なご支援を賜り、心から感謝申し上げます。中でも、東京三商会の奨学金につきましては、まさに本校生徒を物心両面で支えていただいているものと、保護者・教職員一同、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。

この三月まで、私は同じ江東区内にある都立大江戸高校に勤務していました。都立大江戸高校は、すでに閉校した都立化学工業高校の跡地に開校したチャレンジスクールという新しいタイプの都立高校で、今年で創立九年になります。こうした誕生間もない新しい高校から、創立八五年の歴史と伝統を誇る都立第三商業高校に着任し、まさに重責を感じる毎日です。

さて、私の初任の高校は、渋谷区の代官山に位置する都立第一商業高校で、本校第八代校長の笠井重徳先生が都立第一商業高校を定年退職される直前の昭和五八年に採用していただきました。今では本校の校長室で執務していると、真正面に笠井重徳先生の写真が壁にかかっており、笠井重徳先生と目が合う度に、当時の未熟さ故の失敗をよく思い出しては一人で赤面しています。

私は大学で歴史を勉強し、社会科（現在の地理歴史・公民科）の教員として採用され、世界史や日本史を担当してきたことから、どうしても学校の古い

資料に興味が向いてしまいます。都立第一商業高校では、創立七〇周年の記念誌の編集を担当させていただいた際、戦前の卒業アルバムを整理しているうちに、当時の府立第一商業学校の修学旅行が満州・朝鮮に一月かけて船と鉄道で周回してきたことを発見しました。現在の都立高校が三泊四日で沖縄や北海道に行くことに比べると、隔世の感があります。当時の詰襟の学生服を着た生徒たちが、朝鮮半島の景勝地である金剛山をバックに撮影した記念写真を見ながら、これは時間とお金をかけた単なる学生の旅行ではなく、当時の植民地経営という国策を背景とする修学旅行であり、いかに商業学校の生徒たちが将来の経済人として期待されていたかを物語っていることに気付きました。この新鮮な発見をベテランの商業科の先生に話すと、下町にある第三商業はもっとすごいぞと教えられたことを今でもよく覚えています。

その後、私は東京都教育委員会に勤務することがあり、何回か仕事で本校を訪問させていただいたことがあります。ある時、当時の副校長先生が面白いものを見せてあげるといって、図書室の奥の書庫に案内してくれました。薄暗い書庫に入ると、壁面の几帳面な文字がびっしり並び、読んでみるとどれも格調高い文語表記の卒業論文でした。先日、何冊か借りてきて校長室で読んでみましたが、一〇代後半の学生が書いたとは思えないほどの力作ばかりでした。一例をご紹介しますと、二期生が昭和八年（一九三三年）に執筆した『我が國に於ける蠶絲業に就て』では、当時の日本の蠶絲業（蚕糸業のこと）の現況を世界的な視野から詳述し、生糸市況の不振の根本的な原因として、人造絹糸（いわゆるナイロンのこと）の圧迫、アメリカのインフレ景気（いわゆる世界大恐慌のこと）、絹業争議の解決の延引、ドル価の崩落による消費力の激減をあげるなど、三

学的な視点と考察力を兼ね備えていたことが読み取れます。

このことは、当時の本校の教育レベルの高さを物語るものであり、本校のアカデミズムと、そこに学ぶ学生たちの向学心に心打たれる思いがします。私は、こうした歴史と伝統を積み重ねてきた都立第三商業高校の校長に着任できたことを大変光栄に思います。

さて、二一世紀の本校では、約六〇〇人の生徒たちが将来に役立つ資格を取得して、希望する就職や進学の夢を実現しようと懸命に勉強しています。私たち教職員はこうした生徒たちの夢の実現を応援し、生徒たちが同窓会の皆様の後に続き、校歌の一節にあるように「日本の富を担い、社会に貢献していくことを心から願っています。つきましては、これからも同窓会の皆様には、本校の生徒たちの成長を暖かく見守っていただけるようお願い申し上げます。



定時評議員会報告

平成二十四年五月十二日(土) 午後二時より、母校三商の大会議室に於いて、平成二十三年年度の定時評議員会が開催された。

定刻になり伊澤宏祐(二十八期)氏の司会で、土方敏之(二十九期)氏副会長の開会の挨拶のあと、議事に入る前に、来賓として来られた浦部利明校長先生の挨拶を戴く。(校長先生は四月に赴任されたばかりで、ほとんどが初対面でした。挨拶後公務があるとのことで退席された)

柴崎晴雄(二十五期)会長がどうしても出られないとのこと、その旨杉本光男(二十六期)事務局長より報告があった。

次いで杉本事務局長より本日の定足数の発表があり、評議員会は成立している旨の報告後、直ちに議事に入った。

議長選出については司会者一任との声があったが、会則十七条により、今泉 清(三十一期)氏を指名し異議なく、今泉氏が議長を務め進行した。

第一号議案 平成二十三年事業報告承認の件

事務局の活動記録の抜粋を発表し、昨年の事業計画に掲げた事業はすべて履行した旨を杉本事務局長より説明があり原案通り承認された。

第二号議案 平成二十三年会計報告、監査報告承認の件

渡邊秀明(四十八期)会計より、先ず特別会計(周年記念事業)の受取利息が一八〇円のところ二二二円とミスプリントがあったことの訂正の説明があった。前年度より繰越、収入、支出、次年度への繰越のこまかい説明があった後、古田勝一(二十六期)監事による渡邊会計を称賛する言葉とともに監査報告があり原案通り承認された。

第三号議案 役員全員任期満了により改選の件

役員任期満了につき改選については、三浦康二(三十一期)の提案で提出された役員名簿の評議員

について承認を求め候補者名簿通り承認された。次に理事、監事についての承認を求めこれも候補者名簿(一人追加理事候補あり)通り承認された。

理事互選による役員選出のため十分間の休憩動議があり、別室にて役員互選をし、休憩後議事再開で、三浦氏より監事三名 古田勝一(二十六期)、辻井正巳(二十七期)三川廣志(三十四期)、会計二名 小林慎典(二十八期)、渡邊秀明(四十八期)

続いて、会長 岩瀬和子(二十六期) 副会長 篠崎清(二十二期)、尾坂富美子(二十四期)、伊澤宏祐(二十八期)、土方敏之(二十九期)、三浦康二(三十一期)

事務局 杉本光男(二十六期)、伊澤宏祐(二十八期)、鷲 嘉雄(二十八期)、三浦康二(三十一期) 岩瀬和子(二十六期)が互選により決まった旨の報告がありました。

第四号議案 平成二十四年度事業計画承認の件

杉本事務局より説明があり原案とおりに承認された。ただ総会については平成二十四年十一月十七日(土)午後四時より両国の「ザ・ホテルベルグランデ」で行う旨の報告があった。

第五号議案 平成二十四年度会計予算承認の件

小林慎典(二十八期)新会計による説明があり原案通り承認される。

その他持寄り議題

杉本光男財団常務理事より東京三商会が 石川 昭

(二十五期)氏と柴崎晴雄(二十五期)氏の奔走により、平成二十三年四月一日付で 公益財団法人東京三商会として移行認定された。奨学金支給については今まで通り三十名に支給をし、今年度も同じように支給すべく準備をしていること。また、財団運営が学校主体から同窓会へ移ったこと。そして、三商の存続の為に財団は動かなければならぬこと。

そのための拠点が必要等の現況をふまえた説明があった。これからも逐次報告するので注視してもらいたいとの報告があった。

続いて同窓会新会長の短い挨拶があり、午後三時二十分 篠崎 清(二十二期)新副会長の閉会の挨拶で終了した。

役員名簿

理事

二十六期	会長	岩瀬和子
二十二期	副会長	篠崎清
二十四期	副会長	尾坂富美子
二十八期	副会長(事務局)	伊澤宏祐
二十九期	副会長	土方敏之
三十一期	副会長(事務局)	三浦康二
二十六期	理事(事務局長)	杉本光男
二十八期	理事(事務局)	鷲嘉雄
二十八期	理事(会計)	小林慎典
二十九期	理事	柳田保之
二十九期	理事	大川幹雄
三十期	理事	藤倉久男
三十一期	理事	亀田八千代
三十一期	理事	西邨昭一
三十七期	理事	平野淳一
四十八期	理事(会計)	渡邊秀明
二十六期	監事	古田勝一
二十七期	監事	辻井正巳
三十四期	監事	三川廣志
十九期	顧問	木戸隆吉
二十五期	顧問	柴崎晴雄

平成二十四年度 事業計画

○ 今年度も前年度同様、若い世代に同期会を行ってもらおうよう働きかけをし、支援する。
 ○ 「公益財団法人 東京三商会」の運営についてはこれからも注視していく
 ○ 学校とのかかわり、交流を深めるために、同窓会の会合はなるべく学校で行うようにする。

一 定時評議員会

平成二十四年五月十二日(土)

二 「三商同窓会報」五十一号の発刊

投稿締切 平成二十四年五月末日(厳守) 発行 平成二十四年七月一日

三 第二十回 東京校歌祭への参加

日時 平成二十四年十月六日(土) 会場 日比谷公会堂
今年も一〇〇名参加を目標に。

四 三商同窓会 総会

日時 平成二十四年十一月十七日(土) 午後四時
会場 両国「ザ・ホテル ベルグランデ」

五 新年会

平成二十五年二月初旬 予定

六 活性化活動

同期会開催のコーディネートに重点を置く。
卒業式に同窓会より賞状を出す。

七 支援活動

- ① 母校支援(部活動支援、就職活動支援、その他)
- ② 卒業証書入れ寄贈

八 「公益財団法人 東京三商会」については逐次報告する。



2012年5月12日 評議員会 三商会議室

平成23年度会計報告及び24年度会計予算

(単位：円)

平成23年度 会計報告 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)			平成24年度 会計予算 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)		
項 目	23年度予算額	23年度執行額	項 目	24年度予算額	備 考
前年度繰越	8,184,327	8,184,327	前年度繰越	8,679,801	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(79期)	1,470,000	1,450,000	会費(80期)	1,820,000	
運営協賛金	0	615,000	運営協賛金	0	
利息他	3,000	1,364	利息他	2,000	
収入合計	1,473,000	2,066,364	収入合計	1,822,000	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	300,000	202,138	理事・評議員会	300,000	
総 会	0	0	総 会	200,000	
新年会	100,000	40,200	新年会	180,000	
校歌祭	150,000	145,411	校歌祭	150,000	
同窓会報	400,000	324,296	同窓会報	600,000	
活性化活動費	200,000	229,400	活性化活動費	200,000	
母校部活支援	200,000	184,770	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	100,000	97,539	就職活動支援	100,000	
母校支援	100,000	29,710	母校支援	170,000	
卒業証書入れ	150,000	90,666	卒業証書入れ	150,000	
会合費	50,000	0	会合費	50,000	
慶弔費	50,000	25,000	慶弔費	50,000	
通信費・事務費	30,000	1,760	通信費・事務費	20,000	
特別会計予算	200,000	200,000	特別会計予算	200,000	
支出合計	2,030,000	1,570,890	支出合計	2,570,000	
(繰越の部)			(繰越の部)		
前年度繰越	8,184,327	8,184,327	前年度繰越	8,679,801	
当期収入	1,473,000	2,066,364	当期収入	1,822,000	
当期支出	2,030,000	1,570,890	当期支出	2,570,000	
次年度繰越	7,627,327	8,679,801	次年度繰越	7,931,801	

平成23年度特別会計(周年記念事業)		平成24年度特別会計(周年記念事業)	
前年度繰越	653,521	前年度繰越	853,733
一般会計(79期会費)	200,000	一般会計(80期会費)	200,000
受取利息	212	受取利息	200
収入合計	200,212	収入合計	200,200
支出合計	0	支出合計	0
差引次年度繰越	853,733	差引次年度繰越	1,053,933

会計 田端 彰 渡邊 秀明 監事 古田 勝一 辻井 正巳 三川 廣志

上記のとおり、報告いたします。 平成24年4月7日

十期やそじ会

十期 荻野文雄



第八回十期やそじ会は秋日和の平成二十三年十月二十八日正午、神田淡路町の割烹『萬代』で開催した。やそじ会の経緯は、同期生全員を対象にした十期会が大正十三年生まれが数え年八十歳になった平成十五年を以て解散したが、学友参集の中断を惜しむ声に、福田 猛君が応えて常連が気軽に談笑、会食を楽しむ場として、やそじ会を設け第一回の集いを平成十六年五月に催した。当初は六回をもって終了する予定であった。

今回、福田世話人は挨拶で、やそじ会は有終の美を飾って閉幕する時期が来たと考える。各位の意見を伺いたい、と問題を提起した。意見を集約すると、毎年、旧友と会い、酒食を共にすることは老境にあって又とない場であり、長く続くことを望むが、諸般の事情を察すれば後一、二年で閉幕するのは己むを得ない。萬代の佳肴も会合の楽しみだ。

二時、来年の会合を約して解散。
出席者 十一名

飯島武敏、石川喜一郎、岩崎 功、神谷恭正、小西康義、福田 猛、古川恵一、帆足 誠、松下義雄、山田澤三、荻野文雄

五年生のとき、配属将校・小関中尉の統率の下で陸軍の習志野廠舎に宿營して軍事訓練を行い、雨の中を学校まで行軍したことが話題となった。その事情に詳しい小西康義君の話と、後日同君から頂いた資料を基に誌す。

昭和十六年六月十日から宿營、連日の雨にたたられ計画通りの訓練が実施できなかった。しかし予定日の退舎を求められた。十四日は午前中は戦闘演習を行い、午後から降り頻る雨のなかを銃を担い、千葉街道から帰途に着いた。強行軍で何より欲しいのは休息と水である。この際、清田榮一先生が執られた御配慮を知り、七十年後、感銘を新たにしたい。当時この辺一帯は井戸水であったという。小西康義家の船橋の別宅は水道ネットが敷設されていることを承知している先生は、同君に先行して給水を準備するよう要請された。また先生は当夜の宿舎として市川国民学校にお願いするとして卒業生の堀越修吉、筒井守両君を先行して学校の許可を得るよう依頼した。かくてわれわれは安んじて講堂で睡眠を取ることができた。六月十五日早朝、雨の中を出発、江戸川、荒川を渡り、全員落伍することなく、越中島に到着した。

小生が印象に残っているのは、小関教官が当時流行した軍歌『暁に祈る』を主唱し、われわれが和して行軍したことである。

戦時下の学校生活での忘れ得ぬ思い出である。(平成二三年一月一日記)

十期六組クラス会

恒例の十期六組クラス会が秋
天爽やかな平成
二十三年十月
十四日正午、神田
一ツ橋の如水会
館で開催された。

クラス会が永く続いているのは、太田誠一世話人が障害をもつ身ながら取り仕切る熱意によるものであり、感謝に堪えない。世話人挨拶の後、全員が近況、所感のスピーチ。本人ならびに連れ合いの病気の話が多かった。高齢化と共に避けられない道だ。



その中で、三商時代にバレーボールの選手だった井戸、安村両君による、監督で体操教師だった宇梶先生の指導の逸話は鮮烈だった。井戸君は現在、大学のバレーボール部とラグビー部の監督をしているとのこと。八十七歳にしてこの活力には脱帽する。

昭和十六年十二月の卒業記念写真を回覧した。既にアメリカとの戦争が始まっており、それに依る繰上げ卒業だった。十六、七歳の少年の目は一様にキラキラと輝いている。既に食糧事情は逼迫しており、飢えの不安といつ生が断ち切られるか判らない死の恐怖があった。未知の異常な世界に突き出されるような感覚だった。

しかし、われわれは健児として難局の祖国のため

に尽くしたいという純粋な精神をもっていたことも事実だった。いのち永らえて、このセピア色の写真を眺めると、わが青春がいと美しい。級友との懐旧談に思わずビールを重ねた。席を替えラウンジのソファでコーヒーを飲みながらの話題に笑いが絶えなかった。

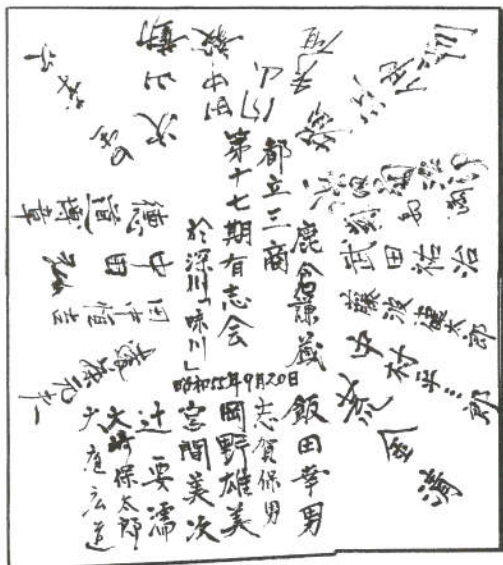
三時、再会を約して散会。

出席者 九名

石丸豊多郎、井戸武一郎、太田誠一、木村一雄、小林英二郎、森 正俊、安村吉之助、山田泰治、荻野文雄
(平成二十三年一〇月二〇日記)

十七期会行事

飯田 幸男



加齢とともに月日の早さに驚くばかり。ついこの間昨年の同窓会報の原稿を事務局に送ったばかりと思っていたらもう今年の原稿を送る時季になってしまったとは。

原稿を書くのにあたりわれわれ一七期会の集まり

はいつが起源かと古い資料を調べたら写真の通り昭和五五年に門仲の「味川」で二三名で集まったのが初めのような。

以来三二年間、毎年三〜四回よくも続いたものといながら感心した次第。この間鬼籍に入った友は一〇名を越す。

しかし今年はずれしいこともあった。平成一〇年の集いを最後に音信不通であった内山秀雄兄が十四年ぶりに不自由な身体を車椅子に乗り介護者方とともに我孫子から参加してくれたことである。また中島郁夫兄も脚の調子の悪いのをかばいながら、集まって夫々旧交を温めてくれた。



行事報告

◎校歌祭
平成二十三年一〇月一日(土) 於…日比谷公会堂

一〇名参加

参加者は今回も声高らかに校歌、応援歌を歌った。しかし、今回も亡き鹿倉兄の悲願の一〇〇名参加は達成出来なかった。次回こそ同窓会が総力を挙げてPRし若い新卒生を動員すべきではないか。

◎忘年会

平成二十三年一二月四日(日) 於…巣鴨三菱養和会
一・二名参加

例年通り同会内「パステル」で一時に開催。参加者はいつもの忘年会参加メンバー。

この一年の無事を喜び、来年の息災を祈りながら時を過ごし足元の明るい三時にお開き。

◎グルメの会

平成二十四年四月七日(土) 於…門前仲町 中華料理の名店「華福寿」

久しぶりに門仲で開催。二度目でもあり美味の店であることは諸兄賞味済み。昔なじみの地元のせい、今回も一四名と盛況。内山、中島両兄参加。時間まで話は尽きない。大横川の桜も満開でみんな花見もでき大喜びで帰路に着いた。

二十三期同期会

三組 木島 栄次

二十三期同期会は物故者と東北大地震の被害者に敬虔な黙とうから始まった。三月一日に集まった仲間八七人、上野東天紅の会場は白髪頭と着飾った昔のお嬢さんで埋まった。三商を卒業して五六年、発展した日本経済の中堅どころを担った仲間たちは元気いっぱいだった。九組あったクラス別の出し物は落語あり、小話あり、カンツォーネあり、カラオケありで、実に三時間余りに及んだ。後期高齢者(実にくだらない命名だが)にあと一步の仲間たちは一挙に半世紀前に戻った。誰かが、「君」付けではな

く呼びつけにされ、とてもうれしかった、と言った。
次回の同期会は喜寿である。元気で再会を誓い、
クラス会に散って行った。



第二十五期 同期会開催

二十五期世話人 根本良一

日時 平成二十四年三月四日(日) 十二時から
会場 東京八重洲富士屋ホテル二階櫻の間
参加者 八十名

- 進行係 根本 良一
- 1 東日本大震災犠牲者を悼んで全員黙祷
- 2 開会挨拶 代表世話人 直井高一郎
- 3 乾 杯 同窓会会長 柴崎 晴雄
- 4 歓 談 ー ー
- 5 恩師挨拶 中川甲子三郎
- 6 歓 談 ー 二
- 7 校歌・応援歌斉唱
- 8 閉会挨拶と一本締め 築地三水会 鬼澤 好男



我々二十五期生が卒業した昭和三十三年は、経済
白書に「日本はもはや戦後ではない。」と言われた
時代を迎えていた。

あれから有為転変の半世紀が過ぎ、今日桃の節句
も過ぎた好天の三月四日(日)に人生残り時間を数
えはじめるころあいにさしかかった同期の懐かしい
友が二年四ヵ月振りに集まり、第十二回同期会が開
催された。当日は恩師を含め八十名が参加。

開宴に先立ち、昨年三月十一日に発生した東日本
大震災で犠牲となった多くの方々と同期の物故者に
哀悼の意を捧げて全員で黙祷！

世話人の口上、「皆さま、大変永らくをばお待ち
せいたしました。これより三商第二十五期同期会の
開宴であります。」で始まり、代表世話人、直井
高一郎さんから開会の挨拶。引き続き同窓会会長
柴崎晴雄さんの音頭で乾杯、歓談に入る。今回は歓
談に多くの時間を割いたシンプルなプログラムであ
り、各クラス横断で大いに旧交を温めることができ
た。

歓談の間に恩師である中川甲子三郎さんからご挨拶
をたまわり、我々一同元気をいただいた。宴も大
いに盛り上がり、松丸滋さんの先導で全員校歌と応
援歌をあつた時代にタイムスリップして斉唱。築地三
水会鬼澤好男さんの閉会挨拶と一本締めで二年後の
再会を誓い、めでたくおひらき相成りました。

第二十六期

これから音頭で

健やかに スコヤカに!!!

第二十六期 古田 勝 一

毎年開催しております二十六期同期会は、昨年末
曾有大災害に遭遇し想定外の中止となりましたが、
本年は二年振りに通算二十三回目を行うことが
出来ました。

六月十六日(土) 十二時より、上野・池之端「東
天紅」にて参加者はピタリ百名・・出席予定者
が一人のドタキャンも無くパーフェクトに参集しま
したことは、珍しく嬉しい出来事でした。

毎回、各組当番制で幹事を担当しておりますが、
今回は三組の方々に取り仕切っていただき、まし
た。(代表当番幹事・小宮邦彦さん、深瀬剛男さん、
鳥越辰夫さん、鈴木久美子さん、牧野滋子さん、竹
田紀子さん、瀧本文子さん、原和江さん、角田利

栄子さん、清家洋子さん)

一昨年、二組より三組にバトンタッチされてから二年間も経ておりましたので、士気がその分下がったのでは?・・・ところがギッチョン!!全くの杞憂でした。

「三組は全員野球で臨むのだ・・・!!」との旗印の下、良く連絡を取り協力をし合い、当日の開催に漕ぎ着けていただきました。中でも深瀬剛男さんは、微に入り細に互り綿密な計画を立て、住所不明の方々も含め名簿の洗い直しと新たな作成作業を精力的に進めてくださいました。

卒業生四百七十二名(物故者五十五名・住所不明者百五名、住所判明者三百十二名)。



当日、まずは牧野滋子さん、鈴木久美子さんの女性陣による開会の辞で始まり、「校歌斉唱」、私より世話人挨拶と続き、三組幹事長・小宮邦彦さんの幹事挨拶/乾杯の発声で歓談に入りました。

わが二十六期の岩瀬和子さんが第七代同窓会長に選出され就任しましたこと、それも三商始まって以来、初の女性会長の誕生となりましたことも披露され、喜び合いました。

又、会場では深瀬剛男さんのご尽力で、東北支援の一助として「三陸名産 焼まつも(高級海藻)」の販売をし、販売益は「被災地支援義捐金」といたしました。

三組幹事長・小宮邦彦さんによる芸術性高い「画」の作品の数々も陳列されました。

そして又、七組の清田実さんが昨年十一月に

二十六期三年七組の「古希記念誌」を発刊されたことも話題となりました。その中で清田さんはご自分の好きな曲として「これから音頭(作詞・荒木良治、作曲・大泉逸郎)」を記しています。

♪すぎて来たあと ふり向くよりも
いまを楽しく 生きようよ
ながい人生 落ちこぼれずに
よくぞここまで 来れたもの
まだまだ じんせい これからだ
これから音頭で 健やかに スコヤカに



「生涯青春で有り続けたいと願っている二十六期生の思いは不滅です。これより先も二十六期生が共に八十才の傘寿をめざして「これから人生・・・」

を元気に楽しんで参ることが出来ればと願っております。

宴たけなわの中、記念写真。撮影は、いつもの様に一組で同窓会事務局長の杉本光男さんにお願ひし、その後全員で精一杯「三商応援歌」を斉唱・・・中締めとなりました。

今回は、精力的に名簿の掘り起こしをしていただいたお蔭で新しく三十六名の方が参加となり、興奮気味の熱気に包まれた心地好い雰囲気を残しながらの散会となりました。

二十六期の皆様、本当に有難うございました。

又、開催間際の依頼に対し「東天紅」の株主優待利用券の提供を快諾してくださいました、同窓会元副会長・富張勝三先輩に誌面をお借りし感謝申し上げます。

二十八期 同期会開催報告

伊澤 宏 祐

四年毎に開催される二十八期同期会が、平成二十四年三月一〇日(土)港区芝パークホテルにおいて、開催されました。今回は三商卒業満五十年・私たちの古希をお祝いする記念の同期会としての、諸企画が計画されました。その①として、開催日を三商在校生の卒業日に合わせ、二八期代表一五名が卒業式に参列、後輩の門出を祝福すると共に、我々の出発の原点を確認させて頂きました。又、その②として、在校時代新聞部岩本栄輔君の協力を得、五〇年前に発行した三商新聞を会場に展示し、当時を思い出す背景を創りました。修学旅行やキャンプの案内パンフありと当時を懐かしく思い起こしました。

更に、その③として粕谷安考君・志村嘉津江君他に、無理をお願いし、芸術作品の提出を頂き、同期生の芸術、専門技能者の紹介コーナーとしてその作品を通じて、同期の誇りとする。「オークシヨン」を行いました。(関係者に深い謝意を表します。)

会は一〇六名の参加者と六組担任竹本哲郎先生が高齢をおしてご参加いただき、五十嵐達司君の名進行にのって、おおいに盛り上がり、二時間が夢のように過ぎました。



久しぶりにお元気な竹本哲郎先生にお会い出来大変に嬉しく、出席者全員、先生のご長寿を祈り、今後ともご指導いただきたく事をお願いしました。

二次会は、同パークホテル内に設定された会場に場所を移し、開かれました。今回は五組の担当で、カラオケを楽しみながら、落ち着いて会話を楽しみました。清水博君の汗をかきながらの歌の受付業務を眺めながら、五組幹事の諸氏に厚くお礼申し上げます。

二八期同期会が盛り上がった、楽しい会合として、

第二九期の卒業 五十年記念同期会開催

第二十九期同期会幹事代表 **大川 幹雄**

今から五十年前、昭和三十七年三月に第二九期四六〇名(男子三〇九名、女子一五一名)が卒業した。卒業五十年祝賀同期会を、平成二十三年十一月六日に、恒例の会場、銀座ラフィナートで開催した。

我々の卒業の頃は、日本が高度成長期真っただ中で、求人難で青田刈りの傾向が強く、地方からの「集団就職列車」が金の卵と新聞に報道されるなど、就職先選定では恵まれた時代であった。しかるに五十年後の現代は、我国が未曾有の大激動期を迎え、「失われた十年(あるいは二十年)、百年に一度の経済危機、一千年単位の大天変地異」という、三重苦への対処を必要とする真つただ中での開催であった。

特に平成二十三年三月十一日の驚天動地の東日本大震災では、八ヶ月後の同期会開催時でも、今だ復興の先行き不透明の苦難の時期で、二年余りの準備を進めた幹事会でも想定外で、この社会情勢の時期に、恒例としてはいえ同期会を開催して、同期生は参加するだろうかとの懸念が出た。開催当日は、ご多忙の中を恩師、多数の会員参加で、総員百一名と最近に無い大盛況であった。開催当日の参加者感想は、この環境だからこそ「永年にわたる人の絆の確認の必要」が再認識されたとのことであった。

開催出来ましたが、クラス幹事のご奉仕によるご協力の賜物と、深く感謝いたします。お互いに体調に留意して、次回にお会い出来ます事を念じております。

最後に、二六期の古田先輩より、三商旧校舎記念品を寄贈頂きました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。生涯青春を感じる同期会でした。以上

当日受付では、年齢を感じさせない、美女連および白髪禿頭紳士連が、三々五々の到着時に、お互いにヤアヤアの再会挨拶で集い、顔なじみの揃うクラス毎に着席して、旧友との交流が進み、会合での二時間が、一部から短いと叱りを受ける一面もあり、終了時には、別れを惜しみつつ盛況裡に終了した。



司会は永年自らの飲食の時間も取れない状態でも、会の盛り上げに腐心する、3組寺島幹事永世名人の進行により滞りなく進められた。冒頭の会長挨拶では本日の参加者数が百名を超えたとの報告、同期会が五十年にわたる永続の秘訣として会員の熱意、クラス幹事のご苦勞および代々の役員のご苦勞

との紹介ならびにねぎらいが述べられ、次回以降も多くのご参集で、同期会が限りなく継続されますようにと結ばれた。来賓としてご参加いただいた恩師の吉岡様、東葭様のご挨拶では、ウイットに富んだ近況のご報告、参加者のご健勝の祝意に加えて、若さを保つ秘訣として、常に新たなことに挑戦しておられる様子が紹介され、この歳にしてまた教えをいただいたようです。同期から同窓会副会長を務める八組土方幹事から、最近の学校ならびに同窓会関連の報告があった。ここまでの短い時間も参加者の待ち切れない雰囲気の中、八組湯浅監事の乾杯発声で、待望の懇親懇談タイムに入った。

テーブル毎のクラス幹事のご配慮で、参加者は卒業後五十年経過にもかかわらず、会えば瞬時に三商時代の面影、話題がよみがえるような会の雰囲気で大変盛り上がった。恐らくはあるであろう日ごろの疲れも感じさせず、久しぶりにお会いする女性はそのれなりお若く・美しく・元気な姿に、男性は変わらぬスマートな年相応のお姿に安堵。皆が常に座を盛り上げようとしてのご苦労のお姿に感心・感謝の連続であり、会場会社に営業として勤務する同窓の第三七期生のご高配により、限られた会費の中で、料理は最近では持て余すバイキングを避け、年齢相応の中味にこだわった和食三段重ね弁当、飲み放題を準備出来たので、参加者から大好評でした。

参加者全員から当日の感想を聞くことはできなかつたが、多くの方から、乾杯後、各テーブルで酒量が増えるほどに懇親が進み、各クラスで参加者各自の近況報告、話題として春先の東日本大震災時の勤務先・出先或いはご自宅での体験・被災状況、現在もお仕事を続けていられる方からは勤務先でのご苦勞話、語ることの多い体調管理、家族のご支援を受けながらの闘病生活、日々の運動の心がけ、余技の活動、お子様お孫様との日常の生活、最近の経済生活等が語られました。特に共通しての話題であったのは、年齢相応の国内外旅行の思い出、孫自慢、服用される薬、体力維持、晴耕雨読の生活、年金収入での生活法など、生活を楽しまれておられる様子を伺い、参考になり、お互いに明日からの活力・元氣

を受けたようです。

中でも特に感銘を受けたのは、リタイア後にそれぞれのやり方で人生を楽しんでいる事。現在も実業・教育界で躍進の様子。在学中には聞かなかった、趣味の絵画書道等で社会人生活の中で思わぬご発展をされ、大きな大会で入選を勝ち取り、中に今や特選の連続、師範となり塾を開くまでの域に達している方が複数おられ、別には各地の公式フルマソンを渡り歩くつわものもおられるなど、参加者から敬服のまなざしを集めておられた。

途中いつもご協力願う、名カメラマンの五組伊藤(茂) 幹事により、来賓を囲んで参加者の笑顔のベストショットを捕らえての、クラス別記念写真の実施があり、その後も懇親が続いたが、最後に元生徒会長の六組伊藤(武) 幹事のタクトで、三商生活思いの出のクライマックスとして応援歌、校歌を、参加者で肩組合って声高らかに歌いました。

今回は「古希の祝い会」になるので必ず全員で再会する事を約して、久しぶりの旧友との別れを惜しみながら同期会は散会となった。後日の情報では各クラス共、夕暮れの銀座の街を二次会、三次会といつまでも名残を惜しんだようです。

(補足) 我が同期は卒業時四六〇名で、残念ながら逝去された方が三八名(男子三一名、女子七名、女性には体調管理に気を配るのでしょうか、我が同期も女性が引き続き元気のようにです)、連絡の取れない方が七九名おられ、現在の連絡会員は三四三名です。写真・クラス別記念撮影、クラスで参加者が一番多かった七組(二〇名)であります。

七十九期生との懇談会

副会長 三 浦 康 二 (三十一期)

今年三月十日母校卒業式の終了後に男子四九名、

女子九七名、合計一四六名の卒業生(七九期生)の代表として、各クラスより一三名が新評議員として同窓会役員との懇談会が母校の会議室にて行われました。これは毎年の恒例行事を、今後の三商同窓会を担っていく大事な宝の誕生会として同窓会先輩役員との意見交換をしながら、これからの同窓会での必要性や質問や要望と新しい同窓生からたくさん対話を重ねる事ができました。

楽しい雰囲気の中で杉本事務局より評議員としての委嘱状と記念品の贈呈が行われ、有意義な会合となりました。

今後の七九期生のますますの活躍と発展を同窓会一同心より希望しております。



第三十一期 同期会のお知らせ

暑ささびしい中、節電の毎日です、皆様方におかれましては、元氣で過ぎの事と存じます。九月三十日(日曜日)同期会を左記通りに開催いたします。東京スカイツリーが良く眺められる会場にしました。十分時間をとりましたので、昔の思い出話を、又此れからの話で楽しい時間を過ごしませんか。ぜひ多数の皆様方のご参加をお待ちしています。



記

一、日時 平成二十四年九月三十日(日)

受付十二時

午後十二時三十分

午後十七時まで

一、場所 上野不忍の池前

「東天紅上野店」5階

03(3828)5111

一、会費 九千円也

(当日キャンセルは後日集金致します)

*不明点は事務局に連絡下さい。

三商同期会 事務局

星野 忍 03(3295)3636

辻村 ソノエ 090(2550)4616

第三十四期 第八回同期会ご案内

第三十四期同期会幹事 三川 廣 志

三十四期の皆さんお元氣ですか!

前回二十一年十月にホテルイースト21東京で一六四名の仲間、五名の先生方とお会いして早くも四年が経ちました。昨年三月十一日・東日本大震災以後、同期会でお会いしていない仲間からも同期会開催のお問い合わせを頂いております。

今回も、各クラス幹事が少しでも楽しい時間を共に過ごすことが出来たら幸いとイベントを工夫しておりますが、欲談タイムを大事に考えています。ひとりでも多くの方に参加を希望します。

尚、当日は日比谷公会堂で第二十回校歌祭が午後から開催されます。

三商の出番は午後四時頃となっておりますので、二時三〇分頃迄に会場受付を済ませ校歌・応援歌を舞台で歌い、同期会に参加されるのも楽しいことと思います。(参加費無料・ギャラ無し)

記

月日 平成二十四年十月六日(土)

午後五時受付五時三〇分開会

会場 第一ホテル両国 五階「清澄」

交通 JR「両国駅」歩六分

都営地下鉄大江戸線「両国駅」直結

同窓会新年会報告

二十八期 鷲 嘉雄

母校三商同窓会新年会が、平成二十四年二月四日(土)午後五時から、JR両国駅前 ザ・ホテルベルグランデ「ジャルダン」の間で、ご来賓五名の方々をお迎えし、会員四十八名合計五十三名の出席をえて盛大に行われました。

司会は 鷲 嘉雄(二十八期)が務め、開会に先立ち物故者に黙祷をささげた後、土方敏之副会長(二十九期)の力強い開会の挨拶に始まり、主催者を代表して柴崎晴雄会長(二十五期)から最近の情勢を含めた挨拶が行われました。

引き続き、ご来賓の方々からご挨拶を頂きました。初めに地元 大澤 昇都議会議員から都政の現状、母校三商への引き続きのご支援、続いて在校生の実務スキルアップのため実習受け入れをして頂いております、深川仲通り商店街振興組合代表理事・石鳥龍治先輩(二十五期)からご祝辞を、さらに母校三商 天野光芳校長から最近の学園生活の動向等を含めた情報を頂き、最後に 染谷ひふみ教諭(指導部長)から三年生の厳しい進路状況の分析をまじえての報告等をいただきました。ご来賓の方々、有難うございました。

三川廣志君(三十四期)の高らかな乾杯の発声後、しばしの懇談に入り各テーブルではあらためて乾杯をしたり、再会の喜びに花が咲いておりました。

一呼吸入れた後、本日出席の各期ごとに順次壇上にあがり近況報告。皆さん先ずは自己紹介から始まり三商時代の思い出から、趣味の生活や近況生活まで幅広い話に熱が入っておりました。

あつと言う間に最終章に入り、校歌、応援歌を全員で大合唱、指揮は 三川廣志君と今回三十一期の有志の方々も加わり一時ではありますが、学生時代に戻り高揚した顔、顔、顔、時は尽きません。

中締めの後 伊澤宏祐君(二十八期)の閉会の挨拶、そして記念撮影と今年も楽しく開催することが出来ました。そして、木樨会、会計人会、双六会、山岳部、三史会、三水会の皆様ありがとうございました。

今回の出席者は五十三名でしたが、来年に向け各期、各OB団体等に声をかけ一人でも多くの参加者を増やし同窓会の輪を広げて行くようではありませんか。

大澤昇都議会議員に 要望書の提出

事務局(三一期) 三浦康二

二〇一一年(平成二三年)一月二六日大澤都議事務所(江東区森下町)に於いて都立三商母校への支援活動の第二段として、東京都教育委員会が現在進めている都立高校全般の改革の中で職業高校の重要性を強く訴えていかなければならない昨今、商業高校の中で特に我が母校都立三商は、創立八五周年を迎える歴史と伝統が有ります。母校を巣立った卒業生は約二万五千人を超え、その多くは実業界の中枢で活躍しております。その優れた力量は高く社会に評価されており、三商は良き伝統を継承されております。

これからの日本の経済や社会を担い、明るい気概をもった人材を育成する学校として、特色のある教育活動を推進している日本の将来には欠かす事のできない唯一の商業高校である事を強く東京都教育委員会に三商同窓会一同の意見として訴えていただきたい旨の要望書を大澤議員に提出をいたしました。



三商会計人会の活動



三商会計人会会長
十九期 増田昌弘

平成二十四年六月十四日、三商会計人会第二十回定期総会が両国「大関庵」にて開催され、左記次第により付議事項が承認並びに可決されました。

次 第

- 一・開会挨拶
 - 一・会長挨拶
 - 一・議 事
 - (一) 議長選任
 - (二) 議事録署名人選任
 - (三) 第一号議案 平成二十三年度事業報告
 - (四) 第二号議案 平成二十三年度収支決算報告
 - (五) 第三号議案 平成二十三年度収支決算監査報告
 - (六) 第四号議案 平成二十四年度事業計画案
 - (七) 第五号議案 平成二十四年度収支予算案
- 以上、全ての議案は承認可決されました。

- 一・来賓祝辞 東葭時雄先生
- 一・懇 親

- (一) 乾 杯
- (二) 会食懇談

当会計人会では、会則のもとに、会員相互の親睦を図り、かつ母校三商の簿記会計分野の学科の学習充実に寄与することを目的としており、定期機関紙として『都の空』を刊行しています。会員は公認会計士、税理士等の職業会計人で組織され、懇親に入ってもプロフェッショナルな歓談に終始しました。

一・閉 会

新経済論の模索

二十八期 大野眞言

卒後五〇周年、そして古希を迎える事になった第二八期生の一員として、本年、平成二四年三月に実施された同期会に参加させて頂き、又、先立って母校の卒業式にも参列でき、大変な記念日となりました。その上、同窓会報への寄稿をお誘い頂き、幹事に感謝の限りです。

さて、小生の生きがいと言えば、昨年の東日本大震災、原発事故を契機に決意した事があります。それは、新しい社会を築くための新たな経済理論を探求することです。残りの人生でどこまでやれるかは別として、とにかく只管(ひたすら)探求を続けたい、と思っています。今迄の経済学と言えば、種々な流れが有っても結局、資本の論理、富イコールお金から抜け出す事はできませんでした。これからの世界経済は、今迄の常識を全て取り払い、自然界との調和の中で、人類の生存が永続されるメカニズムを持った社会システム、が構築されなければならぬのです。

その為の理論武装こそ、模索を始めた新経済論なのです。三・一一ばかりではありません。世界中で大規模な自然災害が発生していますが、一方で原発は止まる事なく増えています。そして危険は倍加しています。又、世界中で経済危機が頻発しています。EUばかりではありません。紛争も絶える事はありません。温暖化や海洋汚染、世界各地での砂漠の拡大、等々環境問題も、もう待った無しの状況、といえるのではないのでしょうか。

しかし各国政府の対応と言えば、旧態依然とした対策しか取れないでいます。身近な日本国では、四

月早々の現時点で、政界では消費税増税問題が最大課題となり、すったもんだを連日繰り返しています。

もともと消費税とは、安定財源となる比較的景気の影響を受けないで済む、と言う役所の論理から生まれたもので、増税すれば財政悪化が改善されるものでもありません。もし、改善される、と考えるのであれば、米国での財政赤字など起こらなかつた筈です。州毎の違いがあるとは言え、ほとんど一割前後なのではないでしょうか。

それに対する反対意見も区々(まちまち)です。消費税そのものを反対、とする意見は、大衆課税であり、貧富の拡大を意図するものだと言い、今、するべきではない、とする意見のひとつは、財政支出削減こそ優先して取り組むべきだ、と言います。国会議員や公務員の人件費等削減、その他事業の見直しを求めています。いま一つは、景気さえ良くなれば税収の自然増も考えられるし、消費税増税も抵抗が少なくなるだろう、と言う意見です。

みんな尤もな感じがしませんか。実は江戸時代だって同じ様なことがあったのです。(NHKさかのぼり日本史、江戸時代編参照)但し、すったもんだの議論ではなく、將軍や大名の決断で進められたものですが。

江戸時代と言えば、戦国の世が終り、武力競争から経済競争へと姿を変えました。そして経済力の強化とは、米の生産増でした。そのため日本中で新田開発が進められ、不用意な自然界の破壊となり、度々自然災害に襲われました。

新田開発で人口が急増し、飢饉で一挙に困窮状態に、を繰り返したわけです。江戸時代は、これらの混乱を為政者、名君と呼ばれた人達が知恵と経験の積み重ねで克服して来た歴史です。

暴れん坊將軍吉宗も、その名君の一人です。網吉の時代に起きた宝永大地震では、富士山までも噴火する大災害でしたし、その後も享保の大飢饉、と続

きました。

それに対して見込まれて紀州家から將軍の座に着いた吉宗は、先ず儉約令によって財政支出の削減を図り、その上で年貢の四公六民を五公五民へと引き上げました。消費税増税の実施でした。それに対し尾張徳川家の宗春は、景気対策こそ優先する、として吉宗の禁じた遊芸雑楽を逆に推奨した、と言われています。その時の名残りが名古屋市民の婚禮の引出物の派手好み、と言われています。又、河村市長の減税党もその流れの中にあるのかも知れません。ま、時代が変わっても人間の考える事に大差は無いと言いたかったのです。

ところで経済学の事です。経済学は、人類史上に分業が強力に行われる様になり、市場経済が生まれ、市民社会が誕生する様になってから生まれたものです。そして機械化の進展によって急激に膨張を始めた市場経済への対応を解析しようとしたものなのです。

初期の段階では、アダム・スミスにより(富国論)市場経済の発展こそ国家の力、と説かれました。

一方で、市民社会が育つ前に機械工業化による経済体制が進んだ地域、国家では、領主と領民の関係を資本家と労働者、と読み代えたマルクス・エンゲルス等の社会主義経済論が唱えられました。それに対し、成長した市民社会を持つ国家にあつては、労働者は同時に消費者であり、企業は、直接資本を有する者が経営する訳でもなく、依託に寄るとする株式会社方式が一般となり、ケインズ等の近代経済学が生まれました。

更には、大量生産、大量消費の時代となると、当然の事ながら失業者の発生を見ます。政治上の不安定要因です。そこで生まれたのが国が借金をしてでも景気を浮揚させる政策でした。その為どの程度の資金の流れが、景気への影響となるのか、それを解析しようとして金融経済論が生まれました。更に

は、度重なる戦争の後で、絶対的経済力を確保した米国でしたが、何度かの恐慌を経てのニクソンショックによる変動為替制への移行に伴う国際経済市場の大幅な変化に対し、世界経済と個別国家経済との関係を分析する、国際経済学へと発展して来ました。

しかし、自分の知るところ、未だ世界経済の動きを分析した理論、世界経済学とも云えるような理論は、出ていない様な気がしています。それは、実際にはたった一つのメカニズム、つまり資本の論理、お金の力のメカニズムですが、打てる対策は個別の国家単位のものであり、せいぜい複数国の協調による対策、世銀やIMFと云ったところが限界だからです。

目指そうとしている新経済論は、この資本の論理を明確にし、私達の錯覚を修正することで、全ての面での調和、異なる考え方や意見、それらを包含したままで、安定した社会活動が得られる調和型経済社会の基礎となるべき理論なのです。調和型社会とは、例えば東日本大震災では、大変な苦しみの中で、軽じて生存していた被災者、一方では多くの方から寄せられた義捐金が、なかなか分配されなかったり、ボランティアでもないのに、野次馬みたいな見学は申し訳ない。まして観光として現地を訪れることなどできる事ではない。でも現地の観光地ではお客無しでは生活ができない。復興どころではない。そんな声も聞かれました。原発事故は、その混乱に拍車を懸けました。世界を見渡すと、環境問題への対策として、次々と新技術が開発され、その原材料となる鉱物資源が劣悪な労働条件と、安易な廃棄物処理による鉱毒を撒き散らしての調達と云う、新たな環境破壊を引き起こしています。

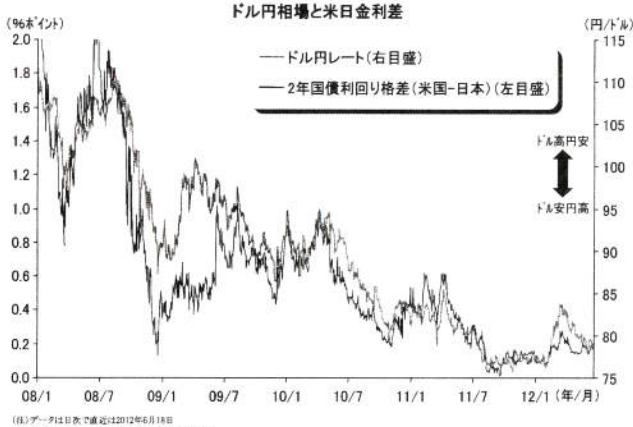
目指すべき調和型経済社会とは、これらの相反する意見、考え、行動の中から、お金の論理で動くメカニズムを取り外し、本来の人間社会の集団生活を維持できるものにしようとすることです。当然、国、民族、階層、あらゆる所で発生する貧富格差、争い、

武力行使、こう云ったものを静める力を持つようになる社会の仕組のことを言います。

では資本の論理、お金の力のメカニズムとは、一体どんな用きをするものでしょうか。かつて今の様な工業化が進む以前にあつては、お金は物々交換の中継をするものでした。従つて、交換を行う物品と容易に比較できる物、金や銀、あるいは宝石に準じた価値を持つ物でした。ニクソンショックの前迄は、米ドルは金との交換が可能な金本位通貨でした。しかし、固定相場をやめて多国間の通貨単位の比較を、通貨市場の評価にまかせる変動為替制に移行された後は、常に不安定な貿易決済が生ずる事になり、銀行は、その変動をある程度調整するための仕掛け、予約相場制、ヘッジを導入しました。

これは、ある国が一方的に通貨の発行量を増やした場合、変動相場で吸収されますが、安定した国家間では、微調整で済む筈、と言う事で日本の円高、円安等と言う場合でも、輸入業者と輸出業者の双方の調整が、銀行が介入することで測れる筈でした。

ところがお金と言うものは、儲かる場所に流れます。そして最も簡単に儲かる事と言えば、賭事です。最近問題になっている消えた年金。みんな賭事で亡くなったもの、消えた分を儲けた人達がいるわけです。合法的賭博で



負けたのです。お金とは、持った人にとって、幾らでも増やしたいものなのです。お金とはもしかしたら方法次第で、大きな利益を生む元になるものです。

現代社会は、毎日が賭博で動く経済社会なのです。株式市場、為替市場、原油市場、穀物市場、金属資源市場、国際市場と言う名の賭博場が毎日開かれ、その一部は、ラジオ等で放送されているのです。しかも、この賭博場を跨っているため、各国政府は直接的対策を打つ事が出来ないのです。

この現状が、世界経済学を必要とする理由なのです。国際経済学では解決不能なのです。国際資本、日本で外資と呼ばれるお金が、どんな意図でどの様な動きをするのか、これさえ解決できれば、全て解決されるでしょう。その一つが、先述為替市場での予約制ヘッジを悪用して、為替相場で差額を意図的にコントロールしているのが、ヘッジファンドです。どうしてこの様な世界になってしまったのでしょうか。理由は二つです。工業化は人類に楽な生存を与えてくれました。自然界の循環の限度を超えたエネルギーの多消費のお陰です。結果的に自然界からの大災害で罰を受けています。生存のための生活から、快適だけを求める生活へと変わったからです。今一つは、お金が物々交換の手段から、いつでも好きな時に、財やサービスを要求できる権利書へ、と変わったからです。お金は減らないもの、との錯覚が全ての元です。お金を持っているだけでは、税金は掛りませんが、家を建てると固定資産税が掛ります。家も経年劣化で価値が下がります。ここに大きな盲点があります。そして、対策の根本的考えにもなるのです。

こんな事を毎日考え、これから具体的資料、貿易収支、国家財政、国際市場での金融の仕組み、商社の役割等を追求しようと思っっています。どんな事でも結構です。手掛かりになりそうな情報や資料があれば、ご一報を。

東京三商会の運営について

前年第五十号の会報に「公益財団法人」（平成二十四年四月一日設立）への移行が認定されたことを報じた。一般には、公益性が乏しければ税優遇措置はなく、存続が危ぶまれて自動的に解散を余儀なくされる。

当財団は、『同窓会会則 第十七条を参照』第三条(2)奨学援助及び公演会等の開催」を特化されて、爾来、昭和三十九（一九六四）年一月に設立、運営され今日に至っており、明後年には五十周年を迎える。奨学金給付事業としては他にも「〇〇育英会」といった法人名称などで聞き覚えもあろう。

しかし明年十一月までに公益認定への移行期限までに至らない既存の財団がまだ多いとのこと。理由は、認可条件に「三百万円以上の基本財産を有すること。」があり、これをクリアせねばならないとされている。わが東京三商会は創業当初から幸いにして堅実運営に拠ってきたが、法人によってはこの財務問題が難関なことが挙げられる。というのは、事業規模が大きすぎ、国や都の補助金を受け、天下りや官民癒着、さらには民主党の事業仕分けで文化予算の削減等が起因している、現実には借入等により債務超過の法人が多数あるようだ。こうした背景から「存続の危機」に悩まされているのが実態で、過去にも放漫経営の法人が摘発、淘汰された事例があった。

当財団が伝統的に堅実を死守してきた結果、新法人の認定を得られたが、税財源が事業の必要性及び効率的に使われているか、無駄な事業の縮小・廃止を点検、要請されていて当局の視点は緩くない。

当財団は幸いにして借入はないが、言うまでもなく法定事項の順守はもとより、コーポレート・ガバナンスを確立し、資産の持ち腐れとの指摘の無きよう事業運営の責務があることを明記しておきたい。

別表は、前期・今期の奨学生採用状況（給付決定）を示したものである。

【設立当初の基本財産】 (昭和38年8月27日決議)

1. 川岸運動場	敷地	雑種地	2,504坪
	価格		272,364,200円
2-①. 六日町山寮	建坪		210坪
	価格		12,300,000円
	敷地	山林	
	面積		1,515坪
	価格		303,000円

2-②. 運動場	敷地	山林
	面積	1,000坪
	価格	250,000円

[同 運用財産]
同窓会、PTAによる募金 500,000円

(以上、資料「財団法人東京三商会誕生の記」より引用)

お問い合わせはこちらまで E-mail : sanshoukai@m6.dion.ne.jp

東京三商会奨学生 採用人数一覧表

学 校 名	23年度			24年度		
	応募者数	採用者数		応募者数	採用者数	
		男子	女子		男子	女子
東京都立第一商業高等学校	0	0	0	2	1	1
東京都立第三商業高等学校	25	17	5	26	5	18
東京都立第四商業高等学校	2	1	0	3	1	1
東京都立第五商業高等学校	0	0	0	0	0	0
東京都立江東商業高等学校	15	2	0	1	1	0
東京都立芝商業高等学校	2	1	1	2	1	1
東京都立葛飾商業高等学校	0	0	0	0	0	0
東京都立赤羽商業高等学校	0	0	0	0	0	0
東京都立荒川商業高等学校	1	1	0	0	0	0
東京都立大田桜台高等学校	2	1	1	0	0	0
東京都立千早高等学校	0	0	0	0	0	0
合 計	47	30		34	30	

卒業論文をご返却します。(閲覧のみ可)

暦年のOBの皆様のご執筆になられた卒業論文は、その一部を三商図書館に永年保管中ですが、経年劣化により、その保管方法にも際限が到来、特に効果的な保存方法もなく、次第に朽ち果ててまいりました。

そのため、今般、母校での保管を解除いたしますので、ご返却・閲覧を希望されますご卒業生には、一度母校図書館へお出向き願ひ、お申し出下さい。概ね卒業期の順に保管されてはおりますが、一部、戦時中の被災の際の焼失または侵食、腐食の著しいものもあり、執筆者の判別に困難を来たします場合もありますので、ご承知置きください。

卒論は論題を定め、諸先生の指導の下に研究調査を行い、その成果をまとめて提出することとされておりました。

- ① 自家営業の者 二〇〇ページ
- ② 就職の者 一〇〇ページ

中には一、〇〇〇ページを超える大作もあります。

論題としては、家業に関するものに、「繊維・染色」、「旋盤・鍍金」、「為替・手形割引」、「食品水産加工」、「木樺」など様々で、墨東地区の伝統産業である代表的な製造業の技術史として記録の保存版として留めておきたいし、金融(質業)等の、云わば「手順書」もどきの論文が保管されています。製本と背表紙は学校側にて施されたものです。

なお、執筆者以外にも閲覧可能で、浦部校長の「ご挨拶」にも触れておられるように一見の価値あり貴重な資料です。

以上、同窓会事務局からお知らせいたします。

◎なお、校舎の改築工事が進捗しますので、来たる八月中旬に、保管場所を移転します。予定の移転先は各地域の資料館となる予定で、目下のところ交渉中であり、三商図書館ご担当の教諭または同窓会事務局までお問い合わせください。

保管中の卒業論文の一例

卒業論文のタイトル	卒業期と提出者	卒業論文のタイトル	卒業期と提出者
「銀行貸出業務」	第1期 平野 正典	「資本市場としての証券取引所」	第4期 石井 久
「菓子について」	〃 橋本米一郎	「外国為替相場」	〃 戸田 豊
「取引所」	〃 朝倉 久利	「庶民金融に於ける質屋」	〃 馬場 善平
「会社法」	〃 岩田誠之助	「ガラスと工藝」	〃 横川 計夫
「セルロイド製造」	〃 矢野 元照	「手形交換所及び手形交換について」	〃 柴田 榮一
「モスリンについて」	〃 鈴木仙之助	「日本ニ於ケル水産業」(下)	〃 江原 繁隆
「染料工業」	〃 山内 泰一	「製 紙」	第8期 長崎 義信
「珙瑯鉄器工業」	〃 藤森 謙吉	「取引所の研究」	〃 加藤三佐雄
「倉庫経営論」	〃 岡野 伸一	「本邦に於けるメリヤス業」(下)	〃 尾坂 雄三
「人絹会ノ一端ヲ視ク」	第2期 久田 勤	「法律より見たる中央卸売市場」	〃 加藤 順一
「鮮魚ノ取引ト関係市場」	〃 西野 常次	「日本新聞発達史」	〃 市川 勇三
「漬 物」	〃 平田 東	「コンツェルンと題して」	〃 馬場 六郎
「絹織物」	第4期 堤 満雄	「I C E (アイス)」	〃 小笠原作一
「日本貨幣発達史」	〃 大芦 孝吉	「移民輸送船之研究」	〃 中村 朝治
「担保附社債信託法」	〃 山崎 繁雄	「近年の世界貿易考察」	〃 野瀬 昇男
「満州國の通貨及び金融」	〃 加藤 了介	「水産缶詰を主としたる缶詰概論」	〃 吉塚 和夫

随 想

歩くのは楽しい

第十期 荻野文雄

われわれの三商生徒時代は車社会ではなく相当な距離でも歩くことが当り前であった。特に三商では初代校長・吉澤 徹先生の教育方針で「歩く」ことを鍛えられた。低学年のときの東京郊外一周遠足を思い出す。そこは未だ都市化されず野趣に満ちていた。歴史の先生が同行され、柴又帝釈天、目黒不動尊、池上本門寺などの縁起を教わった。以来、青壮老時代を通して「歩く」ことが小生の健康法であり、社寺巡りが趣味になった。昭和四八年八月には会社の夏休を利用して六日間をかけて秩父三十四間音霊場を巡拝した。

平成二三年八月には自宅のある横浜から多摩川を渡り東海道(第一京浜)二日がかりで、日本橋まで歩いた。歩いていると自然と姿勢がよくなり、リズムに乗って速歩になり元気が出てくるように感じる。

聖路加国際病院理事長・日野原重明先生は歩くことの効用を説かれている。「大股でさつさと歩いてごらんさい。姿勢がよくなり、少なくとも歩いている間は心配ごとや悩みを忘れ、気分が変わります。歩け歩けがストレスに勝つ最善の手です。」「夫が定年退職になり、毎日閑そうに家に居るようになってから、家庭内にトラブルが絶えないという夫婦がいまいます。私はこういう人には、とにかく出歩くことをすすめます。近所の商店街を歩くことでもよし。外出することによって新しい刺激を受けます。こうして気分転換ができれば、不得手な家事を奥さんや子供に教えてもらおうという素直な気持ちになれるかもしれません。」

日々の散歩コースは近くの清水ヶ丘公園と大岡川

プロムナード。両方とも桜の名所。巨木に手を当てオーラを頂く。人知れず道端に咲いている花を見て心が和む。月に何回かは二つのコースを歩く。清水ヶ丘から野毛山・伊勢山・掃部山の連峰(一)を涉り第一京浜から横浜駅に至るコース。途中に県立と市立の図書館が在るのは本好きには嬉しい。

もう一つは根岸の森林公園に上り林と草原を遊歩し、高級住宅地で外人墓地に通ずる山手本通りを下って横浜港に面した山下公園に達するコース。往き来する船、ベイブリッジ、群れ飛ぶカモメ。ベンチに座って海を眺めていると気が安らぐ。幕末開港以来のメリケン波止場も今は遊覧船の発着場だ。ハマ情緒に誘われてか散策するアベックが多い。帰途は古き良き時代の建物が並ぶ海岸通り、馬車道を抜けてイセザキモールの商店街を散歩する。老舗書店の有リンドウ隣堂書店を覗くのも楽しみだ。

四季を通じて最も魅力ある散歩道は自然と歴史が混ざり合った鎌倉だ。なかでも好きなのは北鎌倉の浄智寺から、南朝の討幕首謀者・日野俊基を祀る葛原岡に上り源氏山から尾根づたいに落葉をふみしめながら長谷に下るコース。ゆっくり歩いて一時間半の行程。

美男の大仏が露座する高德院の門前でしばし憩う。付近に土産物屋が多く、観光客に最も人気があるスポットだ。由比ヶ浜海岸道を潮風に吹かれながら稲村ヶ崎を目指して歩く。

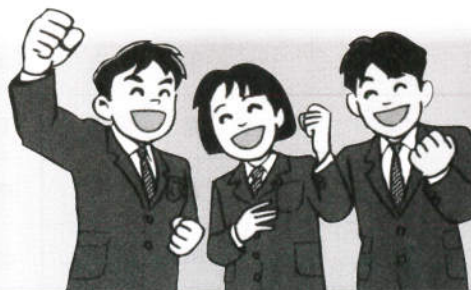
眼下に展開する相模湾と江の島の風景を眺めながら弁当を食べる。白雪を冠した富士が姿を現わせば気分は最高。裸足になって七里ヶ浜の波打ち際を歩く。波の音をききながら流れゆく雲を眺めて腹式呼吸をすると野生の生命力が蘇えってくる。かくて終着の小動(こゆるぎ)岬に至る。

山道を歩くのに七十路では苦もなかったことが、八十路に入ると木の根に躓きやすく転びやすくなることを痛感する。年には勝てない。ウォーキングは山道は避け、草原や平地だけにした。一日一万歩を目標にしている。

来たる三商創立九十周年祝賀会には、地下鉄・日本橋で降り、永代橋を渡って生まれ育った江東区の

三商祭のおしらせ

10月6日(土)



http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/

会場に入り、同窓生諸氏と乾杯して母校に祝意を表したいと願っている。(平成二十三年一〇月六日記)



お好み焼き むんじゃ 鉄板焼
万年や

〒135-0046 江東区牡丹2-7-6
TEL 03-3643-0177
FAX 03-3641-4765

定休日 火曜日
営業時間
平日 17:00 ~ 23:00 (22:00 LO)
日祭日 15:00 ~ 22:00 (21:00 LO)

「定年、一丁上がり」は、見送つて

三十一期 西邨 昭一

★不動産業界の「星」誕生

早いもので母校三商を卒業して、四十八年が過ぎました。

昭和三十九年三月に卒業し、私は、総合不動産会社の三菱地所株に就職しました。

三菱地所には、当時、三商の先輩が二名居りましたが、二年先輩の林美雄さんは、在学中の昭和三十六年、第八回全国高校放送コンテストアナウンサー部門で一位を獲得されており、その後三菱地所を退社し、TBSのアナウンサーになりました。深夜放送ブームの一九七〇年代には、久米宏、小島一慶と三人で、「TBS若手三羽ガラス」と称されていました。残念ながら、平成十四年に五十八歳の若さでお亡くなりになりました。

ところで、三菱地所は、皆さんもご存じのとおり、東京の丸の内一帯に多数のオフィスビルを所有し、「三菱村の大家」と言われ、ビル賃貸事業専門の会社でしたが、昭和四十四年に、マンションや戸建て住宅等の不動産開発・販売事業に進出しました。私は、これに伴い創部された「住宅部」の第一期社員となり、爾後三十二年八月月に亘り、同社で住宅開発・販売事業に従事致しました。

不動産事業は、景気の波に大きく左右される事業で、昭和四十八年のオイルショックでは大きな打撃を被った一方、昭和の終わりから平成の初めは、「バブル景気」で大いに潤った訳であります。

そのバブル景気の最中の平成元年十月に、私は、(社)日本高層住宅協会の米国高層住宅事情視察団の一員として参加したのですが、偶然にも、この視察団に東京建物株から参加されていましたのが柴崎晴雄前同窓会長さんでした。初めてお目にかかった際は、三商の先輩だとは存じ上げませんでした。視察旅行中にそれと分かり、そのご縁で今日同窓会のお手伝いをさせていただいている次第であります。

す。

当時の視察旅行は、まさにバブリーでして、費用は一名一五〇万円ほどで、ニューヨークからボストン、オーランド、ニューヨーク、サンディエゴ、サンフランシスコまで十五日間、ホテルは映画「星の王子様」ニューヨークに行く」等有名な、「ザ・ウォールドルフ・アストリア」等の著名なホテルに宿泊するような豪華な視察旅行でありました。

ただ、帰国二日後、最後の訪問地サンフランシスコの大地震の報に接し、被災地の状況を見聞するにつき愕然とすると共に、無事帰国できたことを感謝した次第でありました。

★転勤辞令は、突然に!

視察団帰国三年後の平成四年十二月二十二日。休暇を取って部下とゴルフに行つて帰った夜、娘から「会社の中澤さんという人から電話があつたよ」と告げられた。中澤さんといえば人事部長だ。翌朝、部長を訪ねると、発せられた言葉は、「一月一日付で、名古屋支店に異動」とのこと。

年明けの一月四日、取るものも取り敢えず、これが十二年半に及ぶ名古屋での単身生活になるとは露ほども思わず、名古屋に赴任したのだ。

名古屋支店次長時代は、マンション・住宅開発や日本発の大型定期借地権を導入した「ナゴヤドーム」の定期借地権地代コンサル等様々な仕事に恵まれ、遊びも含めて充実した時期であつた。

平成十三年の春、懸案であつた大規模マンション開発の目途がついたと同時に、自分自身の中でも一度リセットしたいという思いが高まり、早期退職を決定し、平成十三年十一月に、三十七年半お世話になつた三菱地所を退社した。

当時まだ五十五歳、その後の当てもなく辞めてしまひ、ブラブラしている毎日だったが、仲の良い遊び・飲み仲間からこの機会に記念・記憶に残るものを制作してはとの話があり、自分史もあるが作詞、作曲ができる仲間もいることから、CDを自主制作しようということとなり、名古屋の夜の盛り場「錦」

を唄つたデュエットソング「おチャメな名古屋」と熟年世代の応援歌「たからか音頭」という楽曲が提供され、平成十四年一月、遂に、インディーズ盤デビューを果たしたのである。また、このCD制作がキッカケで、制作スタッフの紹介により、仕事でも新天地を得ることとなつたのである。

★Key Person interview

不動産業界、夜のヒット歌謡界を揺るがす

今年最も期待される銀星の誕生です

西邨 昭一

歌手、タレントと言えは十代、二十代が花盛りだが、今や五十代以降の年齢構成が大きな割合を占める逆ピラミッド時代。人生の機微を知り、経験豊かな年齢になってこそ歌える唄もある。

そして、星の数ほど生まれる歌謡界の新星の中でも銀星(シルバースター)と呼ばれる大型新人が、西邨昭一氏。

職人ワザで不動産業界を常に一歩リードしていくタフさは、夜の歌謡界でも今、注目されている。

■唄とマンション開発、

二足の草鞋でいこうと思います

どんなに音楽知識をもつていようと、テクニックを駆使しても、心がなければ人の心は動かない。四十年近く勤めた会社を辞めて、いわゆる第二の人生、もう一度同じ業界の舞台に立てることになった。僕の(開発)にかける想いを新しい舞台で新しい仲間とつくっていく、こんな嬉しいことはないですね。

今までの経験を次の世代に引き継ぐ、なんていうとちょっとカッコつけすぎだけど、世の中変わつても「以心伝心」は健在だと思ふ。いや、そう思いたい。

僕たちの世代は本当はみんなもつと元気なんだ。

だけどころな荷物を自ら背負って、オヤジと呼ばれてたそがれている。経験豊かな僕たちだからこその出来る事がたくさんあるのね。男なら最期までパツと（たからかに）生きようよ、と言いたい。

■時代劇の悪役スターに憧れた少年時代 股旅物が好きだった

子供の頃、母親と見に行った映画の中でも好きなものは、時代劇でした。

東映映画よりも、松竹映画。高田浩吉に代表される股旅物は、主人公が唄を歌いながら旅を続けるんですよ。このパターンを作ったのは、高田浩吉が最初で、その後が鶴田浩二、それ以降、裕次郎、加山雄三と続く。

で、時代劇スターで好きなのが、「悪役スター」なんです。往年の悪役といえば近衛十四郎。やはりこの人においては他にはいない。カッコいい悪役なんです。

今の人は知らないけれど、後世に伝えたい俳優です。仕方なく悪役になってしまった。潔く切られて死ぬんですね。悪役というのは生きていた時は憎まれ役だけど、死んだ後、いい奴だったね、と思われる。そういう生き方がいいね。

■キミも一緒に歌って「おチャメな名古屋人」 てくだけさい

クールでエッジの効いた新曲、「おチャメな名古屋」なる曲が、いま、銀座で流行っているって、知り合いの弁護士が「BMJ」誌に書いていたけど、僕の歌っているのがそれ。このCDにカラオケが入っているから、しっかり覚えて。キミも彼女と一緒に歌って、一日も早く一人前の「おチャメな名古屋人」になって下さい。そして、「たからか音頭」で、人生をキューートに歌うエバンジェリストになりましょう。

請われればいろんなステージで今後、歌っていく予定です。これは、僕の社会貢献活動ですからね。

編集後記

この後、西郷氏は早々と夜の街に消えていった。「最近では、悪役（あくやく）がいなくなつて...世の中、ホントの悪人（あくにん）ばかり増えちゃったね」という言葉を残して。

（おチャメなCDジャケット）



★そして今、思いは「住育」

平成十三年十二月、CD制作メンバーの住宅新報社名古屋副支局長を介し、以前から知り合いであった名古屋最大のマンションディベロッパー宝不動産の社長から、副社長への就任要請をいただき、翌年一月から新ブランドの立上げ等、同社のマンション事業の再構築を手掛けたのである。

元々、三年間という約束で入社したので平成十七年三月に退社したのだが、それには、以前から今までの不動産の知識を活かし、消費者のために役立つ仕事をしたという想いがあったからだ。

ある日偶然にも、(社)千葉県宅建物取引業協会の専任相談員募集の広告を目にし、これだと思ひ応募、十二年半に及ぶ名古屋単身生活にピリオドを打ち、平成十七年六月に浦安へ戻ることとなったのである。

それ以来、週三日、千葉県不動産会館の不動産無料相談所で消費者から不動産取引に関する様々な相

談を受け、また、年二回の、千葉県・明海大学（日本）唯一不動産学部を擁している）・業界二団体共催による消費者講習会等さまざまな講演活動も行っている。

ところで、不動産取引は消費者にとつては一大事業だが、いざとりかかろうとすると分からないことだらけというのが現実だ。一生に何度も家を買うのが難しい今日では、リビート体験から学ぶこともできず、かといって「住育」の機会があるわけではない。消費者側と業者側の情報格差が大きすぎ、業者側は消費者側が不安に思うこと、知りたいことに気づきにくいのが実情だ。

本来は、消費者の疑問に対しメリット、デメリット双方を開示する「インフォームドコンセント」や、住宅や建築、法律等に関する知識や生活感覚を備えた「消費者エージェント」が機能する仕組みが存在することが時代の要請であるのだが...

私が所属する宅建業協会は、所謂仲介業務を主とする「街の不動産屋」の団体であり、資質に劣る業者が存在することも事実であるが、不動産業者とのトラブルの相談者の中には、自分の非を棚に上げ、自分は一方的に被害者で不動産業者は「悪」だと、決付けて来る相談者も多くいる。

不動産は、「衣食住」の中でも大事な生活基盤だ。消費者相談で正しい不動産取引の知識を伝え、理解を得ることにより、不動産業界全体のイメージアップ、更には資質向上にも繋がるものと信じ、相談者からの「ありがとう」の言葉を励みに、孤軍奮闘の日々を過ごしている。

またその一方、「住育」を学ぶ機会が少ないのが現実であり、三商生に対しても特別講義として、社会人生活において必要とされる住まいに関する知識や職業・キャリア教育の一環としての住教育支援活動を行うことや、不動産業界も後継者問題が切実な現状であることから、学校と業界団体との連携を図り、インターンシップ制度による在学生の就職活動支援が行えればと模索をし続ける今日この頃です。

対談

割烹 日本橋とよだ

日本橋への恩返しを。
その心だけ引き継いで
ほしいですね

五代目 橋本亨 さん

四代目 橋本敬 さん
(第二十期)

文久三年創業、

割烹「日本橋とよだ」

街づくりにも力を注ぐお二人に話を伺った。

編集部 (以下・編) 四代目が継がれたのはいつの頃ですか。

四代目 (以下・四) 私は父が早くに亡くなって、二三歳の時に店を継ぎました。当時は、「応援するから頑張れよ」と言ってくれる取引先もありましたが、「こんな若造に・・・」と半数近くに取引を断られました。一方で五代目は、子どもの頃から「将来の夢は宮大工か板前」と言っていましたね。

五代目 (以下・五) 昔は店の上に住まいがあつて、店に立つ親父の姿を見て、自然と「職人になりたい。」と思っていきました。

四 私たちは、駅伝のランナーの様なもので、自分の代で店を潰してしまつたら、先祖に申し訳ない。店の数を増やすとか、売上を上げるとか、そんなことなく、お客様にいかにも満足してもらえんかが重要なのです。「先代の頃より内容が良いね」とお客様に言っていたことが何よりの誉め言葉ですね。

編 五代目が正式に継がれたのは二〇一〇年の九月ですね。
五 自然な流れでしたが、自分が社長になって、より一層、店への責任を感じましたね。

四 私は、店以外の街の活動が忙しくなつて。今では街づくりという新しい夢、生きがいができました。

編 街の活動にも力を注がれているお二人。四代目から五代目へメッセージをお願いします。

四 お客様、そして商いをさせていただいている日本橋という街への恩返しへの気持ちを忘れずに。この心だけ引き継いでほしいと思います。そして、私たちの世代が方向付けしたものを、息子たちの世代が実現してくれると信じています。日本橋の良い所は言わなくても分かってくれる。そんな心の繋がりがだと思えますが。

同窓会の楽しみ方 5



事務局 (三十一期)
三浦 康 二

今回は特に同窓会で初めて岩瀬女性会長の誕生で、これからの女性として活躍の場が広がる事で同窓会の活性化も進んでいく事を願っております。母校の過去三年間の卒業生(新同窓生)の人数は私達の年齢の卒業生から見れば、現在はまことに羨ましい限りで圧倒的に女性が多く、これからの同窓会の運営に重大な要素となっております。

過去3年間卒業生人数

年(期)	男子	女子	計
2010(77期)	29名	133名	162名
2011(78期)	46	111	157
2012(79期)	49	97	146
合計	124 (27%)	341 (73%)	465

同窓会はどうしても年配の人が役員となつて活動の中心となりがちですが、魅力的な同窓会グッズがあれば若手の卒業生が同窓会活動に関心を持つてくれるかもしれないという事で、女子高校などは同窓会などでオリジナルグッズを製作する動きが広がっています。「制服を着たりカちゃん人形」、「校章の入った印鑑ケース」、「キーホルダー」、「ストラップ」、「金太郎あめ」、「校章焼きせんべい」等全国ではたくさん同窓会アイディアグッズが人気を集め




制服を着たりカちゃん人形

ているようで、特に制服を着たりカちゃん人形を作つた高校では、「もう着ることのできない制服を記念に手元に残しておきたい」という思いが強いようです。私たち三商の同窓会も発足八十周年を二〇一三年に迎えます。皆様の様々なアイディアがありましたら同窓会事務局までお寄せください。さて本題の同窓会の楽しみ方も今回で五回目となります。久しく会っていない友人と再会できる同窓会。こんなにも人生にとつて友人と語らう事が大事なものとこの事は、クラス会、同期会を開催して参加してみた人の多くの人達の実感で有ると思えます。

私達三商の同窓生は、クラスにも、同期にもたくさんの友人がおり、たくさんの味方がおります。先輩には二万五千人の多くの同窓生がおります。自身が大きく悩んだり、行き詰まったり、苦しんだり、人生の中では当たり前のようになってくる大きな試練の時に、多くの同窓生の友人との語らいや、対話の中で打開策や解決への糸口が見つかるものです。仲の良い友人同士でミニ同窓会、日頃から交友関係がある友人同士で互いに声を掛け合つてのクラス会、久しぶりの再会では自然と会話が盛り上がり、当時の担任の教師を交えて卒業アルバムを見ながら多くの人達が参加で喜びの輪が広がる同期会等、みなさんの企画ですばらしい同窓会を開催してみたいかがでしょうか。開催に当つての相談や応援も同窓会事務局まで気がるに連絡下さい。できる限りの応援をいたします。

私達のクラスも、私達の同期も、さあみんなで楽しく同窓会を開催しましょう。それが母校の大いなる発展につながる事を信じて。



計 報
(十二期) 八十五歳
大嶽 清 様

第四代同窓会長を一期勤め、東京校歌祭の実行委員会が長く会計を担当されておりました。同窓会の会合には欠席されることなく、いつもこやかに助言をされておりました。体調を崩されたのを知らず、他校の人から知らされ、平成二十三年七月二十一日に入院されている同愛病院へお見舞いに行きました。校歌祭の会計係についての話をし、また校歌祭についても案じておられました。話はじゅうぶん出来ましたが、付添の奥さんから食事がとれないので困つて、とのことでしたが、間もなく(七月二十五日)亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。



旅行記



山形・佐藤錦さくらんぼ狩り
二日間の旅 JTBバス旅行に参加して

大関庵旅行幹事 十九期 木戸隆吉

平成二十四年三月四日に、卒業六十周年同期会を、新宿三井ビル五十四階で、出席者四十二名で祝杯を上げて間もなく、四月十九日大関庵で、一泊旅行の催しの話が出て、勝亦君が音頭をとって下さり、七月三日、四日の一泊旅行の運びとなりました。コースは山形の、山寺・立石寺参詣、蔵王お釜見学、山寺といえばあの芭蕉の句、

「閑かさや 岩にしみいる 蝉の声」

ガイドさんの案内によりますと、階段が千と十五段あると云い、四国の金毘羅さんは、七百八十五段と対象的になっているということです。

さて山寺に到着してから、記念撮影をバス参加者三十七名でカメラに収まり、希望者により、山寺に登り始め、当方は私と岡野、細田、森君四名で頂上をめざしましたが、私は体調の限界を知って無理なくリタイアして、残された十名の諸兄は下の茶屋で休息していました。その中に三名の方々は、頂上を極めて下山してきました。お見事でした。八十歳前後の体には、大変なご苦労でしたから。

さてバスは国道十三号線から十二号線へ入り、かみのやま温泉、月岡ホテルに入り、夕方の宴会場は広く、きれいで、生ビールで乾杯、ほどよく飲んで、温泉につかり弱塩泉の成分で、夜十時眠りにつき、朝五時を待つ朝風呂に入り、昨日のバスの中で

私たちの話し声が他のみなさんにご迷惑をおかけしたのではないかと、心配しました。なにせ、耳が遠いせいか、声を大きく出し又その声より更に大きくなっていくので、悪循環になったことは、否めません。又後方の座席に着いたので、ご婦人の方々がトイレに行くのに、恥ずかしくて入れない場合もあるのでは、と風呂に入りながら考えておりました。

二日目のバスの席順は考慮され心配は杞憂でした。

二日目は九時三十分出発して、佐藤錦「サクランボ農園」に向かった。どの農園も屋根をしっかりと管理されて、立派な果実園に着き、園長さんの説明の後、農園に入り、たわわに実ったさくらんぼを食べ、土産用の容器に詰めて、さくらんぼ狩りを楽しんできました。さくらんぼは、雨にあたると、いっぺんにだめになってしまう果物で、終戦と同時にアメリカ軍が進駐してきて、肉食でレタスの野菜が無くて、本国から種子を輸入させて栽培させた話、さくらんぼについても食用と重宝されたのもその時の米国の薦めもあったからだど伺っております。だから木の太さも大きくなり四十数年経っているので、味、香りともにおいしくなっているのだと、聞いております。

さて、バスはそれから、蔵王お釜へ向かって発車し、S型道路をゆれながら、登って行き、素敵な景色を眺めながら頂上に着き、徒歩数分でお釜の噴火口に到着しました。この山は天気が変わり易く低温、強風、霧のたちこめ等があり、幸いに私達はすばらしい環境で見られたことは、良かったと感激しております。

帰りは宮城県の方へ下り、遠刈田温泉のさんさ亭を見下ろし乍ら、高速を走り、東京駅に無事着きました。終わり良ければすべてよし。旅行の三要素、三K、お天気、元氣、現金(会費が一人一万五千八百圓)が良くて今回は最高の旅行だったように、感じられます。次の大関庵の会に又熱海のニューフジヤホテル、金城館も頼むよという声がきこえてくるか

も知れません。生きているうちが花だよ！

別れは人生を深め
出逢いは人々を喜ばせる

お疲れさまでした。

「三商十九期有志一覽」

平成二十四年七月三日(火)～四日

- ①大塚章吉 ②岡野静夫 ③勝亦 弘
- ④川名省三 ⑤木村滋男 ⑥木戸隆吉
- ⑦小西照男 ⑧竹内巳喜男 ⑨中村三郎
- ⑩平井 直 ⑪藤井孝保 ⑫細田安治
- ⑬森 莞 ⑭渡部泰宏

以上 計十四名(敬称略)



第113回 三商十九期・懇親会 平成24年5月18日(金曜日) 於 大関庵

(9) 地域との連携

地元自治体、企業、商店街、各学校との連携により、ビジネスマナーの習得と、学校で学んだ知識や技術の定着を図るとともに、ビジネス社会に通用する実践的な能力の育成を図る。

(10) 教育環境の整備

自律経営推進予算を有効活用し、教育環境整備に投資していく。また、公舎の改築・改修を円滑に推進し、よりよい教育環境を整備する。

(11) 募集対策の充実

教育活動を地域住民、中学生、保護者等にPRし、本校で学びたいと希望する生徒を募集するため、募集対策委員会を組織するとともに広報活動を充実させる。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習指導

基礎・基本の充実 専門性と実践力の深化 教育課程のさらなる充実

(2) 生活指導・進路指導

基本的な生活習慣の確率 目標管理型の進路指導システムの構築 防災教育の充実

(3) 特別活動・部活動

学校に対する帰属意識の向上

(4) 計画的な広報・募集活動の実施

(5) 保健指導

(6) 図書・視聴覚指導

(7) 公舎の改築及び改修

これらは今年度の学校の経営計画の抜粋です。大変充実した教育目標を掲げていますが成果のほどはどうか、毎年自己評価をしています。なかなか満足する評価が得られないようです。

集約すると ① 資格を取得する ② 基礎学力の向上 ③ 進路希望100%かなえる。これらを目標に頑張っていくそうです。

今年度から大々的な改築・改修工事がはじまっています。約2年かかるそうですが、校庭がなくなり環境がものすごく悪くなります。特に部活に支障が生じます。他の施設を借りるようになります。公立、私立を問わず借りなければなりません。予算が十分あるか心配です。同窓会に要請があるかも知れません。



平成24年度 三商学校経営計画

1 目指す学校像（生徒一人ひとりが光輝く学校「SUN商」）

- (1) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。
- (2) 生徒一人ひとりの人権を尊重するとともに、基本的な生活習慣の確立や、豊かな人間性の育成、健康の増進を通じて健全育成を図る。
- (3) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人ひとりの能力や適性を引き出すとともに、自ら主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (4) 日本の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。

2 中期的目標と方策

- (1) 学校評価による学校改革の推進
各分掌や教科書における評価・改善と学校運営連絡協議会における生徒や保護者からの評価、生徒による授業評価等を通じて、授業や生徒指導、特別活動等の見直しと改善を図り、魅力ある教育課程の編成を図る。
- (2) 組織的対応力の向上
生徒や保護者、地域の期待に応えるために、教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応するよう、意識変革を推進するとともに、一層のサービスの厳正を図る。
- (3) 基本的な生活習慣の確立
基本的な生活習慣や授業規律を確立するために、家庭との連携を強化して、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任を持たせるようマナーの定着と生活指導の徹底を図る。
- (4) 特別活動の充実
学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸張を図るとともに学校への帰属意識、連帯感、達成感等を育てる。
- (5) 3年間を見通した進路指導マネジメントシステムの構築
1年次の「キャリアガイダンス」を充実させ、自らの生き方あり方を考えるとともに、生徒意識調査や職業適性検査、進路先の調査、資格取得等の計画的・組織的な進路指導を通じて進路保証を図る。
- (6) 職業観・勤労観の育成
各種機関との連携を深め、インターンシップを充実させ、適切な職業観・勤労観を育成するとともに、奉仕体験学習の機会を多く取り入れ、社会性の体得やビジネスマナー等実践的な対応力を育成する。
- (7) 基礎・基本の充実
読み・書き・計算・一般常識など、社会生活に必要な知識や技術を習得させるとともに、ビジネスに関する基本的な資格取得の充実を図る。
- (8) 専門性と実践力の深化
自己や全体の状況を把握し、自ら課題を発見し課題解決できる能力を育成することにより、自らの進路を切り開いていく実践的な力と専門性の深化を図る。

東京魚市場 三水会

会 長 藤枝 精治 (24期) 幹 事 土方 敏之 (29期)
 副会長 鬼澤 好男 (25期) “ 宇田川武志 (31期)
 会 計 加藤 晋一 (28期) “ 中村 一好 (32期)

[三水会の歴史]

昭和25(1950)年発足	平成 2(1990)年10月20日 ホテルメトロポリタンにて創立40周年開催
40(1965)年10月17日第一ホテルにて創立15周年開催	12(2000)年 スエヒロにて創立50周年開催
45(1970)年10月18日椿山荘にて創立20周年開催	22(2010)年 インターコンチネンタル東京ベイにて創立60周年開催
55(1980)年9月27日東京會館にて創立30周年開催	

16期 小川祥太郎(小川兼)	24期 藤枝 精治(尾藤)	28期 谷島 隆
18期 北原 郁夫	25期 鬼沢 好男(伊勢由)	29期 土方 敏之(土方)
19期 桐ヶ谷正保(ツ尾清)	26期 渡辺 照雄(渡福)	31期 宇田川武志(カネキン宇田川)
23期 井上 武久(て良)	27期 伊藤 隆悠(西保)	32期 中村 一好(増分)
24期 加藤 守宏(加藤)	28期 加藤 晋一(佃亀新)	

生活空間応援します!!

不動産に関することなら
 どんなことでもご相談ください!!
 心豊かな暮らしをトータルサポートします!!

TEL: 5628-1511
 FAX: 3636-2292



(社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(11)第26577号

大雄開発株式会社

〒136-0072 江東区大島1-29-6 アプローチ西大島101
 代表取締役 松岡雄治(第26期)

物件情報満載HP 売買情報<http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報<http://www.daiyukk.com>

ご希望に合った『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

祝 第7代 同窓会長 岩瀬和子 (26期)

創業 文久年間

素材の良さと
伝統の味を
守り続ける老舗

創業
文久三年



割烹 とよだ

東京都中央区日本橋室町

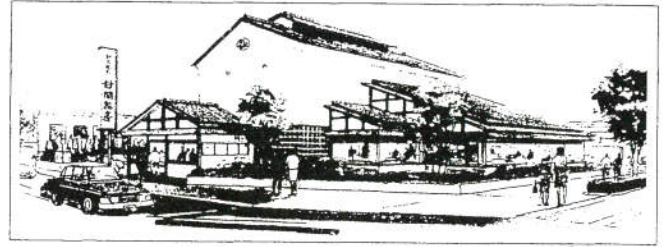
1-12-3

電話 03-3241-1025

(日・祝日休み)

橋本 敬(20期)

<http://www.n-toyoda.com>



ベーカリーレストラン マルコ	3656-5211
しゃぶテキ亭	3656-5629
春江店	5677-0101
葛西店	3689-0101
柴又街道 花炎亭	3677-8601

昭和 36 年卒 28 期生
代表取締役 田中 稔

当店では、ご宴会・ご会合・法事や各種
パーティー等人数・ご予算に応じて承っ
ております。

営業時間 AM11:00~PM11:00

お食事処  葛西店

代表社員
荻野 弘康 (第二十二期)

中小企業、納税者の権利拡充に努めます。
税理士法人 **荻野会計事務所**

東京都荒川区南千住五丁目二五丁目十四
〒一六一〇〇〇三
TEL:〇三―三八〇三―二三二八
FAX:〇三―三八〇五―二〇六九
MAIL:zei_ogi@d3.dion.ne.jp

～同級生からのコメント～

昭和29年10月第1回全国高等学校簿記コンクール
に出場団体戦優勝都立三商 (荻野・西脇・中川)
個人の部優勝 (荻野弘康)

江戸蕎麦打虎 
江戸時代より続く
伝統のわざと味
(第二十八期) 粕谷 安孝

二階座敷二〇名、椅子石一〇名にて
クラス会等にご利用頂いております
コース料理、鴨なべ、烏すき等
揃えてお待ちしております
定休日 日曜日
台東区浅草橋二丁目二九番十一
江戸通り浅草橋と蔵前の中程
電話 〇三(三八五二) 五四一三

あさだHP <http://www.asada-soba.co.jp>

とばへ煙 みっまた

住所/130-0022

東京都墨田区江東橋

4-20-4

TEL/03-3631-5850

定休日：土曜及び祝日です

河西紀道

(第25期)

手
打
蕎
麦

(墨田区銘品名店会)

どじょうすくい踊り教室

読売テレビ文化センター錦糸町 (第1&3日曜日)

読売テレビ文化センター大森 (第2&4木曜日)

朝日カルチャーセンター千葉 (第2&4金曜日)

講師 後藤省三 (28期)



安来節保存会 踊師範 (大利根支部)

〒272-0033 千葉県千葉市市川南1-1-8-808

TEL&FAX 047-321-0786

丸喜株式会社

20期



代表取締役会長

河原啓介

本 社

〒111-0032 東京都台東区浅草6-4-12

Phone:03-3876-1751 Fax:03-3875-6168

http://www.maruki-net.com

E-mail:k-kawahara@maruki-net.com

医療法人社団 飯ヶ谷内科クリニック

理 事 長 飯 ヶ 谷 清
医学博士

(第22期)

千葉県鎌ヶ谷市東道野辺5-19-15

TEL 047(445)8881

トステム・YKK・不二サッシ
ラス・アルミサッシ・スチールドア工事
都知事許可(般-13)第36530号

輝 今村ガラス

(第22期) 今 村 輝 男

〒110-0012 東京都台東区竜泉3丁目9番7号

TEL 03 (3873) 5927 (代)

FAX 03 (3873) 6369

梱包・輸送・倉庫業

日祥梱包倉庫株式会社

代表取締役 有坂祥一 (第22期)

移転先 〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸1-9-8-410

TEL・FAX 0466-22-0851

勤務先 日祥梱包倉庫(株)

神奈川県藤沢市遠藤4651

TEL 0466-48-5641 FAX 0466-48-8533

http://www.nisshokonpo.com E-mail: info@nisshokonpo

有限会社 大石商会

リサイクルショップ

てるてるぼうず

取 締 役 大 石 傑 一 郎

会 長

(23期珠算部)

曳舟本店 〒131-0032 東京都墨田区東向島2-14-1

メゾンド大石1F ☎3616-2434(代)

東向島店 〒131-0031 東京都墨田区墨田1-15-15(住友ビル1F)

☎3616-2430

自宅 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-28-5 蔵前大石ビル4F

☎3861-0084 FAX 3861-0067

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33

TEL047-334-5027

Fax047-334-5432



一橋法律事務所

TEL 042 345 2722
弁護士 越路正巳(22期)



細田木材工業株式会社
代表取締役会長
細田 安治

合法木材供給
事業者認定
[輸入協-037]

〒136-0082
東京都江東区新木場
2-15-28

TEL 03-3521-8701 (代) FAX 03-3521-8708
e-mail:ceo@woody-art-hosoda.co.jp
http://www.woody-art-hosoda.co.jp/

有限会社 みのる不動産
公社東京都宅地建物取引業協会会員

代表取締役 **三川 廣志**
(第34期)

■亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号京葉道路面
TEL (3684) 5851(代) FAX (3684) 5850
E-mail:mk@e-minoru.com

■本店 東京都江東区北砂7町4番3号環状四号面
TEL (3644) 7537(代) FAX (3640) 2543
※団体が公益社団法人に変わりました。



株式会社 杉本好二商店

代表取締役 **杉本 光男**
第26期 (卓球部)

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5
TEL 03-3623-2185
FAX 03-3623-1859

砂利・砂・セメント・碎石
生コンクリート・アスファルト 販売店
祝 第7代同窓会長 岩瀬和子(26期)



株式会社 早川商会

代表取締役 **早川 嘉一**
第26期 (卓球部)

〒123-0873 東京都足立区扇1-45-22
TEL 03-3898-3336・6996
FAX 03-3889-6909
hayakawa-s@tokyo.email.ne.jp

紐付巾着袋・フィンバッグ・手提バッグ
特殊製袋加工・印刷 テープハンドルバッグ・LD丸底袋
LDジャケット袋・ファイル用袋各種

祝 第7代同窓会長 岩瀬和子(26期)

『両国の駅のおそばの大関庵
味も良ければ盛りもよい』

そば処 **大 関 庵**

19期 大 関 守

JR両国駅西口
国技館通り中程
TEL.03-3631-0728

税 理 士
社会保険労務士
行政書士

石川 昭

石川昭税理士事務所
石川社会保険労務士事務所
行政書士 石川昭事務所

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-18-11皆川ビル4階
TEL 045-911-5454 FAX045-911-5396
Eメール akira-ishikawa@tkcnf.or.jp
自宅 都筑区中川1-2 A801 TEL045-912-5056

祝 第7代同窓会長
岩瀬和子(二十六期)

代表取締役 **小野 雄久**
(第26期)

小野建材工業株式会社
小型生コン製造販売
日本工業規格表示認定工場

事務所 東京都江東区平井七丁目二番二十九号
電話 03(3617)4111(代) 5335
FAX 03(3617)4111(一) 5335
FAX 03(3617)4111(二) 5335
FAX 03(3617)4111(三) 5335
FAX 03(3617)4111(四) 5335
FAX 03(3617)4111(五) 5335
FAX 03(3617)4111(六) 5335
FAX 03(3617)4111(七) 5335
FAX 03(3617)4111(八) 5335
FAX 03(3617)4111(九) 5335
FAX 03(3617)4111(十) 5335
FAX 03(3617)4111(十一) 5335
FAX 03(3617)4111(十二) 5335
FAX 03(3617)4111(十三) 5335
FAX 03(3617)4111(十四) 5335
FAX 03(3617)4111(十五) 5335
FAX 03(3617)4111(十六) 5335
FAX 03(3617)4111(十七) 5335
FAX 03(3617)4111(十八) 5335
FAX 03(3617)4111(十九) 5335
FAX 03(3617)4111(二十) 5335
FAX 03(3617)4111(二十一) 5335
FAX 03(3617)4111(二十二) 5335
FAX 03(3617)4111(二十三) 5335
FAX 03(3617)4111(二十四) 5335
FAX 03(3617)4111(二十五) 5335
FAX 03(3617)4111(二十六) 5335
FAX 03(3617)4111(二十七) 5335
FAX 03(3617)4111(二十八) 5335
FAX 03(3617)4111(二十九) 5335
FAX 03(3617)4111(三十) 5335
FAX 03(3617)4111(三十一) 5335
FAX 03(3617)4111(三十二) 5335
FAX 03(3617)4111(三十三) 5335
FAX 03(3617)4111(三十四) 5335
FAX 03(3617)4111(三十五) 5335
FAX 03(3617)4111(三十六) 5335
FAX 03(3617)4111(三十七) 5335
FAX 03(3617)4111(三十八) 5335
FAX 03(3617)4111(三十九) 5335
FAX 03(3617)4111(四十) 5335
FAX 03(3617)4111(四十一) 5335
FAX 03(3617)4111(四十二) 5335
FAX 03(3617)4111(四十三) 5335
FAX 03(3617)4111(四十四) 5335
FAX 03(3617)4111(四十五) 5335
FAX 03(3617)4111(四十六) 5335
FAX 03(3617)4111(四十七) 5335
FAX 03(3617)4111(四十八) 5335
FAX 03(3617)4111(四十九) 5335
FAX 03(3617)4111(五十) 5335
FAX 03(3617)4111(五十一) 5335
FAX 03(3617)4111(五十二) 5335
FAX 03(3617)4111(五十三) 5335
FAX 03(3617)4111(五十四) 5335
FAX 03(3617)4111(五十五) 5335
FAX 03(3617)4111(五十六) 5335
FAX 03(3617)4111(五十七) 5335
FAX 03(3617)4111(五十八) 5335
FAX 03(3617)4111(五十九) 5335
FAX 03(3617)4111(六十) 5335
FAX 03(3617)4111(六十一) 5335
FAX 03(3617)4111(六十二) 5335
FAX 03(3617)4111(六十三) 5335
FAX 03(3617)4111(六十四) 5335
FAX 03(3617)4111(六十五) 5335
FAX 03(3617)4111(六十六) 5335
FAX 03(3617)4111(六十七) 5335
FAX 03(3617)4111(六十八) 5335
FAX 03(3617)4111(六十九) 5335
FAX 03(3617)4111(七十) 5335
FAX 03(3617)4111(七十一) 5335
FAX 03(3617)4111(七十二) 5335
FAX 03(3617)4111(七十三) 5335
FAX 03(3617)4111(七十四) 5335
FAX 03(3617)4111(七十五) 5335
FAX 03(3617)4111(七十六) 5335
FAX 03(3617)4111(七十七) 5335
FAX 03(3617)4111(七十八) 5335
FAX 03(3617)4111(七十九) 5335
FAX 03(3617)4111(八十) 5335
FAX 03(3617)4111(八十一) 5335
FAX 03(3617)4111(八十二) 5335
FAX 03(3617)4111(八十三) 5335
FAX 03(3617)4111(八十四) 5335
FAX 03(3617)4111(八十五) 5335
FAX 03(3617)4111(八十六) 5335
FAX 03(3617)4111(八十七) 5335
FAX 03(3617)4111(八十八) 5335
FAX 03(3617)4111(八十九) 5335
FAX 03(3617)4111(九十) 5335
FAX 03(3617)4111(九十一) 5335
FAX 03(3617)4111(九十二) 5335
FAX 03(3617)4111(九十三) 5335
FAX 03(3617)4111(九十四) 5335
FAX 03(3617)4111(九十五) 5335
FAX 03(3617)4111(九十六) 5335
FAX 03(3617)4111(九十七) 5335
FAX 03(3617)4111(九十八) 5335
FAX 03(3617)4111(九十九) 5335
FAX 03(3617)4111(一百) 5335



第十五期 同期生一同

世話人一同

魚河岸

海老・貝仲卸

土 方 商 店

土方敏之 (第29期)

〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1
電話 & FAX 03 (3541) 8408

「人間と植物の共生社会」の実現を目指して

(社) 日本インドアグリーン協会員
東京グリーンサービス事業協同組合員

サンキグリーン産業株式会社

園芸装飾技能士

代表取締役 亀田 八千代 (第31期)

〒135-0024 東京都江東区清澄 2-15-5
TEL:03-3642-8714 FAX:03-3643-8732
E-mail : yachiyo715@shore.ocn.ne.jp

専務取締役
株式会社 **エイケン**

今 泉 清 (31期)

本社 千葉県船橋市東ヶ崎町七二九番地
TEL 047(422)0211
FAX 047(422)0219
携帯 090-1322-8147

創業明治四〇年 下町の味を伝えて一世紀

うなぎ **川 勇**

高木 利夫 (第三十三期)
元史学部

〒130-0011 東京都墨田区石原三三〇九
TEL:03-3622-5592
FAX:03-3622-5592
E-mail:nagiya@com.home.ne.jp

旨い 安い
下関ふぐ地鶏ちゃん
鳥 義
30期 氏家 賢

本館/墨田区石原3-17-3-101
電話 03-3626-4466

別館/墨田区石原3-17-3
電話 03-3622-8343
FAX 03-3622-8349

<http://e-sumaida.gr.jp/toriyosi/>

(第21期) 平林 慶雄
03(3644)4487

有限会社 **平林油店**
(JX日鉱・日石エネルギーエネオス特約店)

南砂給油所
江東区南砂3-4-5

宇喜田給油所
江戸川区宇喜田1223

自 宅
江東区南砂4-19-13

不動産についてのご相談は、お気軽に。

社団法人 千葉県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会千葉本部

専任相談員 **西邨 昭一** (第31期)

〒260-0024
千葉県千葉市中央区中央港 1-17-3 (千葉県不動産会館)
TEL:043-241-6671 FAX:043-245-0886

～同窓生からのコメント～

在校時の昭和30年代後半は、舟木一夫の「高校三年生」に代表される学園ソングの全盛期。部活で脳トレ、認知症予防にも効果があると
いわれる算盤をやっていたお蔭で現役続行中です。 三商珠算部万歳！

三商同窓会報第五十一号

平成二十四年七月一日発行

発行者

東京都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者

三商同窓会報委員会

編集者

東京都墨田区業平一の一七の五
都立三商同窓会事務局
杉本 光 男

電話 〇三(三六二三)二一八五
FAX 〇三(三六二三)一八五九

印刷所

日本原色印刷工業株式会社

応援歌

作詞 多田 宏
作曲 池内 友次郎
編曲 青山 政憲

見よ三商の旗じるし

T・C・Sの行くところ

旭日洗ふ波がしら

ここに刻む若人の

勝算すでに吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれっ・ふれっ・振れ！)

開け三商の旗ぢから

T・C・Sのはた風は

歴史が語るその誉れ

受け継ぎ来たる若人の

命の誇り吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれっ・ふれっ・振れ！)

見よ三商の鉄の陣

T・C・Sの旗の下

正義に結ぶ和のこころ

明るく強き若人の

凱歌はすでに吾にあり

頑張れ三商、頑張れ三商

(ふれっ・ふれっ・三商！)

(ふれっ・ふれっ・三商！)



夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一 (第26期)



都立三商同窓会「初」の女性会長 第7代 岩瀬 和子 同窓会長

祝

都立三商は昭和3年4月開校・・・

第1期の卒業生を昭和8年に輩出して以来、
同窓会は来年80周年を迎えます。

その間、初代 岡田一郎会長より第6代迄
男性会長で有りましたが、この度の評議員会で
岩瀬和子氏が選出され、女性初の同窓会長誕生
となりました。

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一